

# Contents

舞踊芸術監督 吉田 都 .....	2
<hr/>	
2021/2022シーズン バレエ ラインアップ .....	5
白鳥の湖 .....	6
くるみ割り人形 .....	10
ニューイヤー・バレエ	
夏の夜の夢／テーマとヴァリエーション .....	14
吉田都セレクション	
精確さによる目眩くスリル／ファイヴ・タンゴ／『こもり』より「グラン・カフェ」 ...	18
シンデレラ .....	22
不思議の国のアリス .....	26
<hr/>	
新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2021	
竜宮 りゅうぐう .....	31
<hr/>	
エデュケーショナル・プログラム vol.1	
ようこそ『シンデレラ』のお城へ！ .....	34
<hr/>	
2021/2022シーズン ダンス ラインアップ .....	35
新国立劇場バレエ団	
DANCE to the Future: 2021 Selection .....	36
小野寺修二 カンパニーデラシネラ	
ふしぎの国のアリス .....	38
森山開次	
新版・NINJA .....	40
<hr/>	
公演一覧(1997.10～2021.6) .....	42

※本資料中のスタッフ・キャストは全て予定であり、変更される可能性がございます。  
何卒ご承知おきください。

## 2021/2022 シーズン バレエ・ダンス

### 舞踊芸術監督 吉田 都



私の芸術監督として2年目となる2021/2022シーズンは、就任時に掲げた芸術監督としてのビジョンをさらに推し進めてまいります。まず、バレエ団にとってバランスの良いレパートリーの選択。第二にバレエという芸術により多くの方が触れていただけるような、普及活動や社会貢献活動の充実。そしてダンサーたちのテクニック強化と働く環境の整備です。

2020年初頭より新型コロナウイルスの脅威に世界中が晒され、新国立劇場バレエ団も今シーズンは予定されていた演目を変更するなど、大きな影響を受けました。しかし、この状況だからこそ舞台芸術が果たす役割はより大きくなっていると感じています。その役割を全うすべく、できることから一歩ずつ前進してまいります。

バレエ公演ではまず、2020/2021シーズン開幕作品として予定されていたサー・ピーター・ライトの『白鳥の湖』を新制作で上演いたします。2020年10月からの延期を余儀なくされましたが、満を持して皆様へこの作品をお届けできることを心より喜んでおります。英国らしいドラマティックなプロダクションですので、大原前監督のシーズンより目指している、ダンサーたちの表現力の向上を感じていただけるのではないかと思います。

ホリデーシーズンには、冬の定番となったイーグリング振付の『くるみ割り人形』を、年末から年始にかけてお贈りいたします。クリスマスだけでなく、年越し、新年にもご家族で劇場にお越しいただければ幸いです。

新春の「ニューイヤー・バレエ」では新制作のアシュトン『夏の夜の夢』とバランシン『テーマとヴァリエーション』の華やかなダブル・ビルをお楽しみいただきます。英国らしい演劇的要素とアシュトンならではの独特なステップが詰まったシェイクスピア原作のバレエと、純粹に音楽と踊りの美しさを楽しめるバランシンのアブストラクト・バレエという、趣の異なる二作品をご堪能ください。

2月には「吉田都セレクション」と銘打ったトリプル・ビルをお届けします。新制作で2020/2021シーズンに上演が叶わなかったファン・マーネン『ファイヴ・タンゴ』、フォーサイスの『精確さによる目眩くスリル』、そしてレパートリーからは洒脱なローラン・プティ『こうもり』より「グラン・カフェ」と、大人の魅力を味わえる三作品をセレクトしました。

4～5月には誰もが幸せな気持ちになる名作のアシュトン版『シンデレラ』を上演。日本では唯一、新国立劇場バレエ団だけが持つ大切なレパートリーです。

シーズンエンディングの6月には、2019/2020シーズンに公演中止となったクリストファー・ウィールドンの『不思議の国のアリス』で華やかに締めくくります。

この他新しい取り組みとして、2月末には「エデュケーショナル・プログラム」と冠したバレエを多面的にご紹介する企画をスタートいたします。バレエという舞台芸術の普及に貢献できるようなプログラムとなれば本望です。

ダンス公演では、新国立劇場バレエ団から振付家を育てるプロジェクト〈NBJ Choreographic Group〉で生まれた作品を上演する「DANCE to the Future」を11月に行います。今回は「2021 Selection」と題し、過去にご好評をいただいた作品や、2020年3月に上演中止となり公開できなかった作品も皆様へご披露する予定です。

3月の小野寺修二カンパニーデラシネラ『ふしぎの国のアリス』は、こちらも2020年に公演中止となった作品。大人も子どもも楽しめる、想像力を刺激されるダンス公演の再演にどうぞご期待ください。

7月には初演時に新国立劇場・小劇場をはじめ日本全国で大好評を博した森山開次『NINJA』が中劇場バージョンとして新国立劇場に戻ってきます。広い空間ならではの忍者たちの躍動をお楽しみください。

コロナ禍を通して、舞台芸術というものは出演者がいてスタッフがいてだけでなく、観客の皆様と同じ空間・時間を共にしていただくことで成立する文化であることを、改めて痛感しています。新国立劇場のバレエ、ダンス公演を一人でも多くのお客様にご覧いただき、思いや感動を分かち合えるよう励んでまいります。

#### 〈プロフィール〉

9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエヘプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。

日本国内では1997年の開場記念公演『眠れる森の美女』をはじめ、新国立劇場バレエ公演での99年『ドン・キホーテ』『シンデレラ』、2000年『ラ・シルフィード』、04年『ライモンダ』ほか、数多くの公演に主演している。

ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務めるほか、後進の育成にも力を注いでいる。バレリーナとしての功績と共にチャリティ活動を通じた社会貢献が認められ、04年「ユネスコ平和芸術家」に任命される。12年には国連UNHCR協会国連難民親善アーティストに任命。

01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞。



# Ballet

2021/2022 シーズン バレエ ラインアップ

〈計 6 演目 40 公演〉

2021 年 10 月～11 月

**白鳥の湖** **新制作**

8 回公演

2021 年 12 月～2022 年 1 月

**くるみ割り人形**

12 回公演

2022 年 1 月

**ニューイヤール・バレエ**

**夏の夜の夢** **新制作** / テーマとヴァリエーション

3 回公演

2022 年 2 月

**吉田都セレクション**

精確さによる目眩くスリル **新制作** / ファイヴ・タンゴ **新制作** / 『こもり』より「グラン・カフェ」

3 回公演

2022 年 4～5 月

**シンデレラ**

6 回公演

2022 年 6 月

**不思議の国のアリス**

8 回公演

令和 3 年度 バレエ公演

〈2 演目 10 公演〉

2021 年 7 月

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2021

**竜宮** りゅうぐう

8 回公演

2022 年 2 月

エデュケーショナル・プログラム vol.1

**ようこそ『シンデレラ』のお城へ！**

2 回公演

# 白鳥の湖

2021年 10/23~11/3  
＜新制作＞  
New Production

Swan Lake

オペラパレス | 8回公演

●会員先行販売期間: 2021年8/14(土)~8/16(月)

●一般発売日: 2021年8/22(日)

2021年 10/23(土)14:00、24(日)14:00、26(火)13:00、30(土)13:00/18:30、31(日)14:00、11/3(水・祝)14:00、

10/27(水)~ 29(金)・11/2(火)のうち1日程

料金 S:14,300円 A:12,100円 B:8,800円 C:6,600円 D:4,400円

2021/2022シーズンのオープニングは、古典バレエの名作中の名作『白鳥の湖』で幕を開けます。本作品は吉田都舞踊芸術監督の就任第1作目として2020年10月の上演が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の諸影響により延期となり、2021年10月の上演となりました。サー・ピーター・ライトによるプロダクションは、英国らしい演劇的要素が盛り込まれた重厚な作品となっており、各キャラクターの人物造形も明確で、ドラマティックな展開がお楽しみいただけます。テクニックのみならず、新国立劇場バレエ団ダンサーたちの演劇的な深みのある舞台にご期待ください。

振付: マリウス・プティパ、  
レフ・イワノフ、ピーター・ライト

演出: ピーター・ライト、ガリーナ・サムソワ

音楽: ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

美術・衣裳: フィリップ・プロウズ

照明: ピーター・タイガン

指揮: ポール・マーフィー / 冨田実里

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Choreography by Marius PETIPA,

Lev IVANOV and Sir Peter WRIGHT

Production by Sir Peter WRIGHT

in association with Galina SAMSOVA

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

Set and Costume Designer: Philip PROWSE

Lighting Designer: Peter TEIGEN

Conductors: Paul MURPHY / TOMITA Misato

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

### ものがたり

先王である父の死後、王子ジークフリードは新たな王として戴冠し、結婚することが求められていた。彼はそれまでの自由を失うことを恐れ、愛してもいない結婚相手を選ぶことにためらいを感じていた。ジークフリード 21 歳の誕生日の夜、彼に弓矢のプレゼントを贈るために宮廷の友人たちが集った。友人でもある侍従ベンノがジークフリードの気晴らしのために催した宴の真最中に、王妃である母が現れる。宮廷がまだ喪に服している中で大騒ぎにショックを受けた王妃は、翌日には花嫁を選ばなくてはならないと王子に告げ、意気消沈した彼をその場に残して立ち去る。ベンノはジークフリードを元気づけようと、友人たちと未来の王位継承を祝って乾杯のダンスを踊る。友人たちが帰っていった後、白鳥の一群が空を渡っていく。ベンノはジークフリードにプレゼントの弓矢を試すよう促し、二人は白鳥たちを追っていく。

湖岸に着いたジークフリード王子は、ベンノに白鳥を探しに行かせる。一人残った王子は、そこに魔術師ロートバルト卿の邪悪な存在を感じとる。突然一羽の白鳥が舞い降りてくる。そして王子が驚き見つめるなか、美しい乙女に姿を変える。その若い娘こそオデット姫であった。オデットと彼女の仲間たちはロートバルト卿によって白鳥の姿に変えられ、夜の間だけは人間の姿に戻れるのだ。オデットにかけられた魔法は、まだ恋をしたことをない者が彼女に永遠の愛を誓い、結婚の約束をすることで解くことができるという。ジークフリードはオデットへの永遠に続く真実の愛を誓う。姿を現したロートバルトにジークフリードが矢を向けるが、オデットはそれを遮り、魔術師が死ぬと、魔法の呪いは永久に解けなくなると話す。さらにオデットは、もしジークフリードが愛の誓いを破るようなことがあったら、彼女は永遠に白鳥の姿でいなくてはならないと伝える。やがて夜明けが訪れ、オデットと仲間たちは白鳥の姿に戻り、湖へと帰っていく。

翌日、壮麗なレセプションには、ジークフリード王子の結婚相手の候補として 3 人の王女が招かれていた。3 人の王女たちはそれぞれジークフリードのために踊りを披露するが、彼は心ここにあらずの様子で、花嫁を選ぶことを断ってしまう。ファンファーレが鳴り響き、予定されていなかった客人の到来を告げる。それは使節に身を扮したロートバルトと、魔法でオデットそっくりに姿を変えた、彼の娘オディールだった。

王子は驚くほどオデットに似たこの見知らぬ客人に心奪われ、やがてこの女性が白鳥の姫だと信じ込んでしまう……。



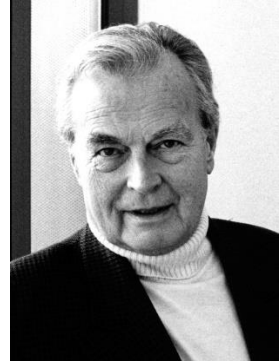
バーミンガム・ロイヤルバレエ公演より Photo by Bill Cooper

## スタッフ プロフィール

**振付・演出: ピーター・ライト**

Choreography and Production by Sir Peter WRIGHT

ロンドン生まれ。複数のバレエ団でダンサーとして活躍。1957年サドラーズウェルズ・シアター・バレエで最初の振付作品『青いバラ』を創作。59年サドラーズウェルズ・オペラでバレエ・マスター、英国ロイヤルバレエ学校でバレエ教師を務める。61年ジョン・クランコ設立のシュツットガルト・バレエ団でバレエ教師及びバレエ・マスターとして活躍。シュツットガルト・バレエ団で初演された初の改訂振付作品『ジゼル』は、後に当作品は英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエを始め世界の多くのバレエ団で上演。この他にも『眠れる森の美女』『コッペリア』『白鳥の湖』など彼の改訂した古典作品は世界各国のバレエ団でレパートリーとして上演されている。60年代テレビでのバレエ作品やウェスト・エンドのミュージカルの分野でも成功を収めた。69年ケネス・マクミランのアソシエイト・ディレクターとして英国ロイヤルバレエに戻り、77年サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（後のバーミンガム・ロイヤルバレエ）の芸術監督に就任、95年芸術監督退任後、名誉芸術監督。バレエ界の数々の要職を歴任。85年大英帝国勲章（CBE）、90年エリザベス2世戴冠賞、93年ナイト爵授与など。

**共同演出: ガリーナ・サムソワ**

Production in associated with Galina SAMSOVA

スターリングラード（現ヴォルゴグラード）生まれ、キエフで活動を始める。西側への移住許可を受け、カナダ国立バレエに入団。プリンシパルとして数多くの作品を踊る。パリ国際舞踊フェスティバルでオルリコフスキー『シンデレラ』を踊り金メダル受賞。その後ロンドン・フェスティバル・バレエに入団し活躍した。古典レパートリーの優れた表現者であり、カーター、ダレル、ハインド、プロコフスキーらの新作に主演。彼女のオデット／オディール、オーロラ姫、キトリは世界中で喝采を受け、またその演劇的な才能は、プロコフスキー『アンナ・カレーニナ』、マクミラン『イザドラ』、ダレル『シェリ』で発揮された。1978年サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエにプリンシパル兼教師として入団、81年に自身の演出で出演した『バキータ』が好評を得る。ライト版『白鳥の湖』でも共同で演出をおこなった。国外でも演出家としての評判が高まり、『ラ・バヤデー影の王国』『海賊パ・ド・ドゥ』『ワルブルギスの夜』『ジゼル』『眠れる森の美女』等を手がけた。



91年より97年までの間、スコティッシュ・バレエの芸術監督を務め、95年には同団のために全幕版『白鳥の湖』を演出、同年ウクライナにて名誉教授号を授与。

**美術・衣裳: フィリップ・プロウズ**

Set and Costume Designer: Philip PROWSE

英国のスレイド・スクール・オブ・ファイン・アーツで学び、1961年にデザイナーとしてデビュー。演出家としても活躍し、1970~2003年までグラスゴー市民劇場の共同芸術監督を務める。母校のスレイド・スクールで舞台美術を教え、後に同校の教授となった。





## スタッフ プロフィール

**照明:ピーター・タイガン**

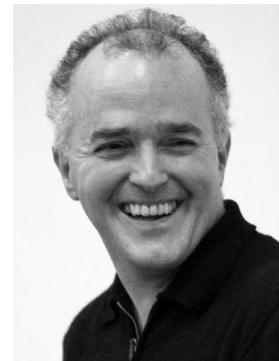
Lighting Designer: Peter TEIGEN

ノルウェー・オスロ生まれ。英国に渡り、ロンドン・シティ・バレエなどで専属照明デザイナーとして活躍。フリーとなってからは、マシュー・ボーン、マーク・ボールドヴィン、デヴィッド・ビントレー、ピーター・ライトといった今日高く評価されている振付家たちとともに舞台を制作。現在、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ照明デザイン・コンサルタントとして海外公演における折衝役も担っている。

**指揮:ポール・マーフィー**

Conductor: Paul MURPHY

バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBCナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBCコンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CD のリリースではハレ管弦楽団（サン・サーンスのピアノと管弦楽曲全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国国立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥリーズ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』ほかを指揮している。

**指揮:富田実里**

Conductor: TOMITA Misato

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』を指揮した。



2021年 12/18~2022年 1/3  
<レパートリー>  
Repertoire

# くるみ割り人形

The Nutcracker and the Mouse King

オペラパレス | 12回公演

●会員先行販売期間: 2021年 10/17(日)~10/19(火)

●一般発売日: 2021年 10/24(日)

2021年 12/18(土) 13:00 / 18:00、19(日) 14:00、21(火) 14:00、24(金) 19:00、25(土) 13:00 / 18:00、26(日) 14:00、31(金) 16:00、  
2022年 1/1(土・祝) 14:00、2(日) 14:00、3(月) 14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

2017年に初演された本作は、ウエイン・イーグリングによる華麗でスピーディーな振付、上品で華やかな美術や衣裳によって、古典名作の新境地を開いたと高く評価された人気演目です。「少女クララの夢」をテーマに、恋心を抱いた青年との冒険を通して大人への入り口を踏み入れていくクララの成長を描いています。高度なパートナリングやテクニックが求められる主役のみならず、雪の場面や花のワルツの群舞、2幕のディヴェルティスマンなど見どころが多く、充実したダンサー陣容を誇る新国立劇場バレエ団ならではの『くるみ割り人形』です。再演を重ねることでさらに磨き上げられた舞台をご堪能ください。

なお、今回の公演は年末年始に上演時期を拡大いたします。クリスマス、年越し、お正月の特別なイベントとして、ぜひ『くるみ割り人形』をお楽しみください。

振付: ウエイン・イーグリング

音楽: ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

美術: 川口直次

衣裳: 前田文子

照明: 沢田祐二

指揮: アレクセイ・バクラン / 冨田実里

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

合唱: 東京少年少女合唱隊

Choreography by Wayne EAGLING

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

Costume Designer: MAEDA Ayako

Lighting Designer: SAWADA Yuji

Conductor: Alexei BAKLAN / TOMITA Misato

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

Chorus: The Little Singers of Tokyo

### ものがたり

クリスマス・イブ。クララの家ではパーティーの準備で忙しく、外では凍った運河の上で人々がスケートを楽しんでいる。謎めいたドロッセルマイヤーと、士官学校を卒業したばかりの彼の甥が到着する。ドロッセルマイヤーは招待客に手品を披露し、クララの姉のルイーゼとルイーゼを慕う3人の男性が踊りだす。ドロッセルマイヤーがクララに贈ったくるみ割り人形（以下、人形）を兄のフリッツが壊してしまうが、ドロッセルマイヤーは魔法のように人形を元通りに直す。パーティーが終わり、クララが眠りにつくと、夢の中で人形は邪悪なねずみの王様に攻撃される。ねずみの王様がねずみたちを引き連れて現れると人形も勇敢な兵士に変身し、ねずみたちとの戦いに挑む。ねずみの軍隊が勝利し、人形は傷を負ってしまう。ドロッセルマイヤーがその場を収め、クララは人形から姿を変えた甥と二人ロマンティックなパ・ド・ドゥを踊る。しかし雪が降り始めるなか、ねずみの王様は甥を人形の姿に戻してしまう。居間が魔法にかかり、光り輝く雪片が降る白銀世界に変わっていく。ねずみの王様たちの軍勢に追われるクララと人形は、ドロッセルマイヤーに救われて、魔法の地へと気球に乗って運ばれていく。一方でねずみの王様は一計を案じる。

魔法の地に到着した。甥はねずみの王様を打ち負かして、壮大な祝祭が始まる。中国、アラビア、ロシア、スペインなど世界中のダンサーたちが様々な踊りを見せる。ドロッセルマイヤーの魔法で美しい庭が現れ、その中でダンサーたちが花のワルツを踊る。最後にクララはこんぺい糖の精となり、王子になった甥とともに美しいパ・ド・ドゥを踊る。

クララは突然、寝室で目覚めた自分に驚く。フリッツとクララは外に出て、雪の中でドロッセルマイヤーとその甥に手を振って別れを告げる。子供たちは不思議な思いに包まれて二人を見送る。



2020年公演より（撮影：瀬戸秀美）

## スタッフ プロフィール

振付:ウエイン・イーグリング  
Choreography by Wayne EAGLING

カナダのモントリオール生まれ。ロンドンの英国ロイヤルバレエ学校で学び、卒業後1969年に英国ロイヤルバレエに入団。1975年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バランシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ビントレーといった振付家の作品に出演。英国ロイヤルバレエ学校用に『R.B.Sque』(83年)、ロイヤルバレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』(85年)などを創作。91年にダンサーとしての現役を引退し、その後13年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』(93年)、『魔笛』(98年)、『春の祭典』(2000年)など。05年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリューション』(08年)、『Men Y Men』(09年)、『くるみ割り人形』(10年)、『遊戯』(12年)の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では14年『眠れる森の美女』を改訂振付、16年『Men Y Men』日本初演、17年『くるみ割り人形』振付を手がけた。

美術:川口直次  
Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤熹燾賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『パキータ』「こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』」、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。バレエの代表作としては、『新白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。

衣裳:前田文子  
Costume Designer: MAEDA Ayako

1988年より緒方規矩子に師事。95年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスへ留学。新国立劇場では演劇公演『喪服の似合うエレクトラ』『夢の痲』『ヘンリー六世』『雨』『リチャード三世』『アジア温泉』『ブレス・オブ・ライフ』『星ノ数ホド』『オレスティア』『骨と十字架』『リチャード二世』、オペラ公演『蝶々夫人』『鹿鳴館』、バレエ公演では石井潤『カルメン』、ダレル『ホフマン物語』、イーグリング『くるみ割り人形』、ダンス公演の伊藤キム『close the door, open your mouth』、前田清実『きらめく背骨』の衣裳も手がけている。95年度伊藤熹燾賞新人賞、第10回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、2003年度伊藤熹燾賞、06年第5回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。



## スタッフ プロフィール

## 照明: 沢田祐二

Lighting Designer: SAWADA Yuji

東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレステイア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。



## 指揮: アレクセイ・バクラン

Conductor: Alexei BAKLAN

ウクライナ国立歌劇場指揮者。1987年、キエフ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』、また、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』（リムスキー＝コルサコフ）、『森の詩』（スコルリスキー）などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。ベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003年、06年にはメキシコで、世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシモ》で指揮を務めた。06年にザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、メキシコシティ国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演（05、06、07年）に参加。新国立劇場バレエ団では08年以降、『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント』『大フーガ』『テーマとヴァリエーション』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』などで指揮を務めている。



## 指揮: 富田実里

Conductor: TOMITA Misato

※9ページ『白鳥の湖』を参照



2022年1/14~16

# ニューイヤー・バレエ

## 夏の夜の夢<新制作>/テーマとヴァリエーション

New Year Ballet  
The Dream *New Production* / Theme and Variations

オペラパレス | 3回公演

●会員先行販売期間: 2021年12/4(土)~12/6(月)

●一般発売日: 2021年12/11(土)

2022年1/14(金)19:00、15(土)14:00、16(日)14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

新春は心躍るダブル・ビルをお届けします。新制作となるアシュトンの英国の雰囲気漂う『夏の夜の夢』、そしてバランシンの華やかな『テーマとヴァリエーション』と趣の異なる二作品のコントラストをぜひお楽しみください。

### 夏の夜の夢 The Dream **新制作**

振付: フレデリック・アシュトン

音楽: フェリックス・メンデルスゾーン

編曲: ジョン・ランチベリー

Choreography by Sir Frederick ASHTON

Music by Felix MENDELSSOHN

Music arranged and Orchestrated by John LANCHBERY

イギリスの巨匠フレデリック・アシュトンによる、シェイクスピアの戯曲をもとにしたバレエ。まるで絵本の世界から飛び出したような森と妖精たちの世界が、細やかな足捌きで表現されるステップや英国らしい豊かなマイムによって華麗に描かれます。妖精パックが引き起こす人間たちの騒動のようなコミカルなシーン、妖精の女王・タイターニアと王・オベロンによる美しいパ・ド・ドゥなども見どころです。



英国ロイヤルバレエ公演より ©2017 ROH. Photograph by Tristram Kenton

# テーマとヴァリエーション Theme and Variations

---

振付：ジョージ・バランシン

Choreography by George BALANCHINE

© The George Balanchine Trust

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

美術：牧野良三

Set Designer: MAKINO Ryozo

衣裳：大井昌子

Costume Designer: OOI Masako

照明：磯野 睦

Lighting Designer: ISONO Mutsumi

The Performance of Theme and Variations, a Balanchine® Ballet, is presented by arrangement with The George Balanchine Trust and has been produced in accordance with the Balanchine Style® and Balanchine Technique® Service standards established and provided by the Trust.

バランシンが 1947 年に発表した作品で、チャイコフスキーと帝政ロシア・バレエへのオマージュとして知られています。ステップや身体の動きでチャイコフスキーの音楽がより細かく表現され、優美で品格漂う作品です。新国立劇場バレエ団では、2000 年の初演以来再演を重ね、アンサンブルの美しさで高い評価を受けています。「見る音楽」と評されるバランシンの振付をご堪能ください。



2017 年公演より（撮影：鹿摩隆司）

---

指揮：クーン・ケッセル

Conductor: Koen KESSELS

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra



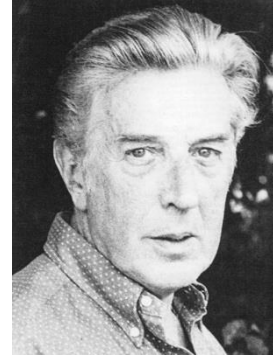
スタッフ プロフィール

夏の夜の夢 The Dream

振付:フレデリック・アシュトン

Choreography by Sir Frederick ASHTON

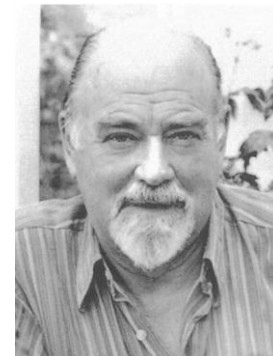
1904年、南エクアドルに生まれる。英国人ダンサー、振付家。アンナ・パブロワの舞台を見てバレエを志し、英国に戻って学業を終えた後レオニード・マシーンに入門。さらに、マリー・ランベールほかの著名教師に師事して種々の舞台に立つ一方、26年に処女作『ファッションの悲劇』を発表する。28年にはパリのイダ・ルビンスタインの舞踊団にダンサーとして参加し、プロニスラヴァ・ニジンスカの作風に強い影響を受ける。35年英国ロイヤルバレエの前身であるヴィック・ウェルズ・バレエにダンサー兼首席振付家として招かれる。同時期に入門しやがて英国最高のバレリーナに成長するマージョ・フォンテインに多くの新作を振り付け、バレエ団発展の原動力となるとともに、英国バレエ独自の気風を確立した。63年には設立者ニネット・ド・ヴァロワの後を継いでロイヤルバレエの芸術監督に就任。70年の退任後も80年代半ばまで創作を続け、88年に英国サセックスにて永眠。主な作品として、『シンデレラ』『ラ・フィエユ・マル・ガルデ』『二羽の鳩』『真夏の夜の夢』『田園の出来事』などがある。



編曲:ジョン・ランチベリー

Music arranged and Orchestrated by John LANCHBERY

ロンドン生まれ。奨学金を得て王立音楽院でヘンリー・ウッドらに師事し作曲を学ぶ。ロンドン・メトロポリタンバレエの音楽監督を経て、サドラーズウェルズ・バレエの指揮者となる。1960年よりロイヤルバレエの首席指揮者に指名され、フレデリック・アシュトン振付の『リーズの結婚』をはじめとする多くのバレエ・スコアの編曲に携わる。72年からはオーストラリア・バレエの音楽監督を務め、『ドン・キホーテ』『メリー・ウィドウ』などのバレエ・スコアを編曲した。さらに映画やBBCのテレビ番組の音楽も手がけ、ベアトリス・ポッターの映画音楽では高い評価を受けた。78年から80年にかけてアメリカン・バレエ・シアターの音楽監督を務めたのち、世界の主要歌劇場でバレエ指揮者として活躍。91年にはルドルフ・ヌレエフの最後の仕事となったパリ・オペラ座バレエ『ラ・バヤデール』の編曲を仕上げた。受賞は数多く、90年には音楽の貢献に対してOBEを授与されている。97年よりオーストラリア・バレエの首席客員指導員だった。新国立劇場へは99年『シンデレラ』で初登場、2000年初演の牧阿佐美改訂振付『ラ・バヤデール』では編曲を手がけるとともに指揮を務めた。03年死去。

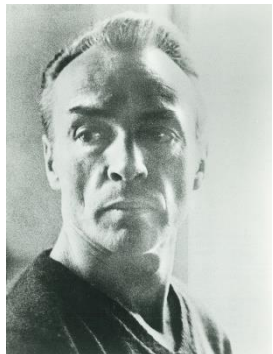


テーマとヴァリエーション Theme and Variations

振付:ジョージ・バランシン

Choreography by George BALANCHINE

1904年サンクトペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年に国立オペラ・バレエ（現マリインスキー劇場バレエ）に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。並行して、ペトログラード音楽院で音楽理論とピアノを学んだ。24年同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエ・リュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振付けた。33年に渡米、リンカン・カースティン等とスクール・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。





スタッフ プロフィール

指揮:クーン・ケッセル

Conductor: Koen KESSELS

ベルギーのオーステンデに生まれ、アントワープ王立フランドル音楽院で学ぶ。

英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの音楽監督に就任し、オランダ国立バレエ、パリ・オペラ座、スウェーデン王立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立バレエ団、バイエルン州立歌劇場、モネ劇場、トゥールーズ・キャピトル劇場などで客演指揮を務め、ニューヨーク・シティ・バレエ、ローマ国立歌劇場、レアル・マドリッド劇場などでも指揮を担当。

現在、アントワープ王立音楽院の芸術監督チームの代表、バーミンガム大学名誉教授、Inspiratum、ヘルメス・アンサンブルの芸術監督を務めている。

新国立劇場バレエ団では 2013 年に『火の鳥』『アポロ』『結婚』を指揮した。



2022年 2/19~23

# 吉田都セレクション

精確さによる目眩くスリル<新制作>/ファイヴ・タンゴ<新制作>/『こうもり』より「グラン・カフェ」

Yoshida Miyako's Selection - The Greatest Ballets: The Vertiginous Thrill of Exactitude *New Production* / 5 Tango's *New Production* / Grand Café from La Chauve-souris, Ballet by Roland Petit

オペラパレス | 3回公演

●会員先行販売期間: 2022年1/8(土)~1/10(月・祝)

●一般発売日: 2022年1/15(土)

2022年2/19(土)14:00、20(日)14:00、23(水・祝)14:00

料金 S:11,000円 A:8,800円 B:6,600円 C:4,400円 D:3,300円

2021/2022シーズンのトリプル・ビルは「吉田都セレクション」と銘打ち、珠玉の3作品をお届けします。2020/2021シーズンにて上演が叶わなかった巨匠ハンス・ファン・マーネン振付『ファイヴ・タンゴ』とフォーサイスの人気作品『精確さによる目眩くスリル』を新制作にて、またレパートリーからは『こうもり』より「グラン・カフェ」を上演します。ダンサーたちの円熟した踊りをお楽しみください。

## 精確さによる目眩くスリル The Vertiginous Thrill of Exactitude **新制作**

振付: ウィリアム・フォーサイス

音楽: フランツ・シューベルト

美術・照明: ウィリアム・フォーサイス

衣裳: ステファン・ギャロウェイ

Choreography by William FORSYTHE

Music by Franz SCHUBERT

Set and Lighting Designer: William FORSYTHE

Costume Designer: Stephen GALLOWAY

時代の先端をいく作品を創作してきたフォーサイスによる、クラシックバレエへのオマージュが込められたプロットレス・バレエ。クラシックバレエの型とテクニックが用いられつつもオフバランスと多重心が多用され、ダンサーたちは身体の強靭さと限界までの柔軟さが求められます。シャープなテクニックと、キレのある鋭い踊りをお楽しみください。



英国ロイヤルバレエ公演より©2017 ROH. Photograph by Bill Cooper

## ファイヴ・タンゴ 5 Tango's **新制作**

振付：ハンス・ファン・マーネン

音楽：アストル・ピアソラ

美術・衣裳：ジャン＝パウル・フローム

照明：ヤン・ホーフストラ

Choreography by Hans van MANEN

Music by Astor PIAZZOLLA

Set & Costume Designer: Jean-Paul VROOM

Lighting Designer: Jan HOFSTRA

当作品は現代タンゴの傑作、ピアソラの『ファイヴ・タンゴ』を使用し、1977年にオランダ国立バレエで初演されました。ハンス・ファン・マーネンの作品中最も上演頻度の高い作品のひとつで、タンゴの楽曲に乗せた情熱的な大人のバレエです。



オランダ国立バレエ公演より  
Dutch National Ballet: 5 Tango's by Hans van Manen. Photo by Hans Gerritsen

# 『こうもり』より「グラン・カフェ」 Grand Café from La Chouve-souris, Ballet by Roland Petit

---

振付：ローラン・プティ

Choreography by Roland PETIT

音楽：ヨハン・シュトラウス二世

Music by Johann STRAUSS II

編曲：ダグラス・ガムレイ

Music arranged by Douglas GAMLEY

美術：ジャン＝ミッシェル・ウィルモット

Set Designer: Jean-Michel WILMOTTE

衣裳：ルイザ・スピナテッリ

Costume Designer: Luisa SIPNATELLI

照明：マリオン・ユーレット、パトリス・ルシュヴァリエ

Lighting Designers: Marion HEWLETT

and Patrice LECHEVALLIER

フランス人のプティならではのユーモアとチャームな踊りに溢れた粋なバレエ作品『こうもり』より、コケティッシュな雰囲気味わえる仮面舞踏会のシーン「グラン・カフェ」をお贈りします。この作品は、クラシックバレエ作品だけからは見ることでできないダンサーの個性が存分に発揮されるバレエでもあります。大人の洗練された笑い、洒脱な楽しさなど、プティ・バレエの芳醇な香りを新国立劇場でご堪能ください。



『こうもり』2015年公演より（撮影：鹿摩隆司）

---

指揮：未定

Conductor: TBA

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

## スタッフ プロフィール

## 精確さによる目眩くスリル The Vertiginous Thrill of Exactitude

振付: ウィリアム・フォーサイス

Choreography by William FORSYTHE

ニューヨークで育ち、フロリダでノーラン・ディングマンとクリスタ・ロングに師事。ジョフリー・バレエ、後にシュトゥットガルト・バレエで踊り、1976年に常任振付家に任命される。84年からはフランクフルト・バレエの芸術監督を20年間務める。フランクフルト・バレエの解散後、新たにザ・フォーサイス・カンパニーを設立し、2005年から2015年まで指揮を執った。この間に創作された作品はフォーサイス・カンパニーのみで上演されているが、それ以前の作品は世界の主要なバレエ団のレパートリーとして取り上げられている。最近では、パリ・オペラ座バレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、ボストン・バレエのためにオリジナル作品を創作し、サドラーズ・ウェルズ劇場が制作した『A Quiet Evening of Dance』は国際的に高い評価を得ている。

現在、南カリフォルニア大学グローリア・カウフマン・スクール・オブ・ダンスの振付研究所の教授、芸術顧問。



Photo by Dominik Mentzos

## ファイヴ・タンゴ 5 Tango's

振付: ハンス・ファン・マーネン

Choreography by Hans van MANEN

オランダ・アムステルフェーン生まれ。1951年ソニア・ギヤスケル・バレエ・リサイタルの一人としてキャリアをスタートさせる。52年ネザーランド・オペラ・バレエに加わり、最初の作品『Feestgericht』を振付。その後ローラン・プティのバレエ・ド・パリに加わる。60年にはネザーランド・ダンス・シアターの創設に参加、63年までダンサー、振付家として活躍し、61~71年芸術監督も務める。73年オランダ国立バレエに参加、88~2003年ネザーランド・ダンス・シアターの常任振付家、03年オランダ国立バレエの常任振付家も務める。これまでに創作したバレエは120以上におよぶ。作品は明瞭な構成、洗練されたシンプルさを特徴とする。オランダ以外でシュトゥットガルト・バレエ団、バイエルン州立バレエ、ベルリン・オペラ、ヒューストン・バレエ、カナダ国立バレエ、英国ロイヤルバレエ、デンマーク国立バレエ、ウィーン国立歌劇場、アルヴィン・エイリー・アメリカン・ダンス・シアターなど世界各国で作品が上演されている。92年オランダ女王陛下からオランダ・ナッソー勲章のナイトの称号を与えられた。05年にはブノワ賞受賞数々の賞を受賞している。新国立劇場バレエ団では14年『大フーガ』を上演。

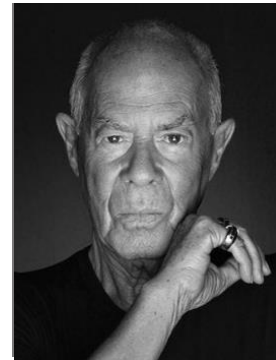


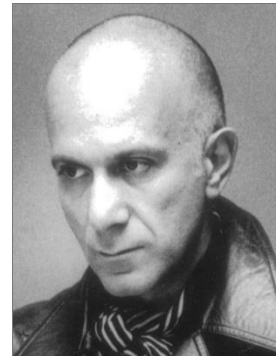
Photo by Erwin Olaf

## 『こうもり』より「グラン・カフェ」 Grand Café from La Chouve-souris, Ballet by Roland Petit

振付: ローラン・プティ

Choreography by Roland PETIT

パリ生まれ。オペラ座バレエ学校で学んだ後、パリ・オペラ座バレエに入団。当時芸術監督だったセルジュ・リファールらに才能を認められるが、自由な創作の場を求めて20歳の時に退団。ジャン・コクトー、パブロ・ピカソなどの芸術家、知識人と交流しながら『若者と死』(1946年)、『カルメン』(49年)などを次々と発表し、一躍時代の寵児となった。50~60年代には映画やミュージック・ホール、テレビの分野に精力を傾け、パリ・オペラ座バレエに振り付けた『ノートルダム・ド・パリ』(65年)以降さらに自由で洗練された表現に結びついていく。72年にマルセイユ・バレエの芸術監督に招かれ、98年に同団を退くまで、『アルルの女』『ブルースト』(74年)『長靴をはいた猫』(85年)『マ・バヴロヴァ』(86年)など、多くの新作を発表。ダンサーとしても独自の存在感を発揮。プティが生み出すバレエの魅力はパリっぴらしい軽妙洒脱さ、小粋さにあると言われ、バレエ一筋の経歴ではなくミュージカルやレビューなどを手掛けた経験が自由さや柔軟さを作り出す。01年ポリショイ劇場での『スペードの女王』の制作などに対して、ロシアの最高国家章をフランス人で初めて受章した。2011年7月10日、スイスのジュネーヴで死去。



# シンデレラ

2022年 4/30~5/5  
＜レパートリー＞  
Repertoire

## Cinderella

オペラパレス | 6回公演

●会員先行販売期間：2022年3/21(月・祝)~3/23(水)

●一般発売日：2022年3/26(土)

2022年4/30(土)14:00、5/1(日)14:00、3(火・祝)13:00/18:00、4(水・祝)14:00、5(木・祝)14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

新国立劇場バレエ団の定番演目として多くの観客に愛されている作品。アシュトン振付によるこの作品は、数あるバレエ『シンデレラ』の中でも最高傑作として英国ロイヤルバレエを始め、世界中で一流のバレエ団によって上演されています。日本では唯一、新国立劇場バレエ団だけが持つ貴重なレパートリーです。プロコフィエフが作曲した音楽は、色鮮やかなメロディとリズム感にあふれ、本作の大きな魅力の一つとなっています。豊かな四季を奏でる音楽とそれを踊る春夏秋冬の妖精たち、魔法をかけられたシンデレラの魔法がとける瞬間の驚くような仕掛け、加えて意地悪な姉妹が見せる愉快的なマイムの数々に彩られたシンデレラの物語は、誰をも幸せな気分に取りこむバレエ作品です。

振付：フレデリック・アシュトン

監修・演出：ウェンディ・エリス・サムス / マリン・ソワーズ

音楽：セルゲイ・プロコフィエフ

美術・衣裳：デヴィッド・ウォーカー

照明：沢田祐二

指揮：マーティン・イエーツ

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Choreography by Sir Frederic ASHTON

Production Directed, Supervised and Staged by

Wendy Ellis SOMES and Malin THOORS

Music by Sergei PROKOFIEV

Set & Costume Designer: David WALKER

Lighting Designer: SAWADA Yuji

Conductor: Martin YATES

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

### ものがたり

シンデレラは、父親と二人の義理の姉と暮らしている。姉たちは好き勝手に振る舞い、シンデレラを召使のように扱っている。汚れた灰色の服で家中を掃除するシンデレラ。それでも笑顔を絶やさず、物乞いの老婆にも優しく接する。

宮殿の舞踏会に招かれている姉たちは、派手に着飾り、ダンスのレッスンを受け、父親とともに出かけていく。一人残されたシンデレラのもとに、先ほどの老婆、実は仙女が現れる。仙女が春夏秋冬を出現させる間に、かぼちゃは馬車に、シンデレラは美しいドレス姿に変身。12時の鐘が鳴り終わる前に戻ってくるよう念を押す仙女に見送られ、シンデレラは期待に胸を膨らませ、お城へと向かう。

宮殿の舞踏会。シンデレラが広間に入ってくると、輝くばかりの気品と軽やかな足どりで人々を魅了し、王子までもが心を奪われる。踊りながら距離を縮めていく王子とシンデレラ。しかし12時を告げる鐘が鳴りはじめ、シンデレラは大慌てで立ち去り、ガラスの靴を片方落としてしまう。

家に戻ったシンデレラは、夢のような時間を思い返している。そこに王子一行がやってくる。片方残った靴を手掛かりに、舞踏会で出会った女性を探しているのだ。小さな靴に無理やり足を入れようとする姉たちを見かねたシンデレラが飛び出したとき、ポケットから転がり落ちたのは、もう片方の靴。王子は、身なりは貧しくとも、彼女こそが自分が探している女性だと悟り、その手を取る。仙女の祝福を受けた二人は永遠に結ばれるのだった。



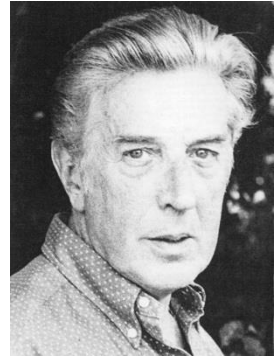
2019年公演より（撮影：瀬戸秀美）

## スタッフ プロフィール

## 振付:フレデリック・アシュトン

Choreography by Sir Frederick ASHTON

※16ページ「ニューイヤー・バレエ」を参照



## 監修・演出:ウェンディ・エリス・サムス

Production Directed, Supervised and Staged by Wendy Ellis SOMES

ランカシャー州ブラックバーンに生まれる。地元のバレエ学校で学んだ後、奨学金を得てロンドンのホワイトロッジおよびロイヤルバレエ学校に進む。1970年に英国ロイヤルバレエに入団、75年にソリスト、79年にはプリンシパルに昇格する。『ロメオとジュリエット』『眠れる森の美女』『シンデレラ』『エリート・シンコペーション』『ファサード』『ライモンダ』『ゼンツァーノの花祭り』『ジャズ・カレンダー』『ジゼル』『エニグマ・ヴァリエーションズ』『レ・パティヌール』『レ・シルフィード』『ラ・バヤデール』『夏の夜の夢』『シンフォニック・ヴァリエーションズ』『誕生日の贈り物』などの主要な役を踊り、90年に引退。英国ロイヤルバレエでマーゴ・フォンテインをパートナーにアシュトンの傑作を多く踊ってきたマイケル・サムスはアシュトンから『シンデレラ』と『シンフォニック・ヴァリエーションズ』の著作権を譲られたが94年に死去したため、彼女が夫の仕事を引き継ぎ、英国ロイヤルバレエをはじめ世界中の多くのバレエ団に同作品の指導を行っている。



## 美術・衣装:デヴィッド・ウォーカー

Set &amp; Costume Designer : David WALKER

セントラル・スクール・オブ・アーツ・アンド・クラフトで学んだ後、リバプール・シアター・ワークショップにてジョアン・リトルウッドとともにデザインの仕事始める。1964年アシュトン振付英国ロイヤルバレエ初演『夏の夜の夢』の衣装デザインをはじめ英国ロイヤルオペラ、ストックホルム・ロイヤル・オペラ、エジンバラ・フェスティバル、テアトロ・マッシモ、フェニーチェ劇場、メトロポリタン・オペラ、ジョフリー・バレエ、ボストン・バレエ、カナダ国立バレエ、シュトゥットガルト・バレエなどに招かれ、世界中の多くの劇場でオペラ、バレエ作品の舞台美術や衣装デザインを手がけた。2008年死去。





## スタッフ プロフィール

## 照明: 沢田祐二

Lighting Designer : SAWADA Yuji

※13ページ『くるみ割り人形』を参照



## 指揮: マーティン・イエーツ

Conductor: Martin YATES

20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、ブリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニーヤ、アンジェラ・ゲオルギュー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。またミュージカル指揮者としても知られており、ウェスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』を指揮している。



2022年 6/3~12  
レパートリー  
Repertoire

# 不思議の国のアリス

Alice's Adventures in Wonderland© by Christopher WHEELDON

オペラパレス | 8回公演

●会員先行販売期間: 2022年 4/23(土)~4/25(月)

●一般発売日: 2022年 4/30(土)

2022年 6/3(金)19:00、4(土)13:00/18:30、5(日)14:00、7(火)~10(金)のうち1日程、11(土)13:00/18:30、12(日)14:00  
料金 S:16,500円 A:13,200円 B:8,800円 C:6,600円 D:4,400円

2018/2019 シーズンオープニングを飾り、高い評価を得たプロダクションがシーズンの締めくくりに登場します。2020年6月に再演を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で公演中止となり、満を持してこの度の上演が決定しました。本作は英国を代表する作家ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』を題材として、振付にはバレエの新時代を切り開いた英国人振付家クリストファー・ウィールドン、音楽には映画やテレビ番組での音楽を手がけるジョビー・タルボット、美術には数々の作品でトニー賞を受賞しているボブ・クロウリーという錚々たるアーティスト達が集結して、英国ロイヤルバレエで初演されました。世界を席卷したこのプロダクションは世界有数のバレエカンパニーがレパートリー化しており、アジアでは唯一新国立劇場バレエ団だけが上演を許可されました。エンターテインメント性と芸術性を兼ね備えたカラフルな魔法の世界をぜひご堪能ください。

振付: クリストファー・ウィールドン

音楽: ジョビー・タルボット

美術・衣裳: ボブ・クロウリー

台本: ニコラス・ライト

照明: ナターシャ・カツツ

映像: ジョン・ドリスコル、

ジュンマ・キャリントン

パペット: トビー・オリエ

マジック・コンサルタント: ポール・キエーヴ

指揮: ネイサン・ブロック / 冨田実里

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

共同制作: オーストラリア・バレエ

Choreography by Christopher WHEELDON

Music by Joby TALBOT

Set & Costume Designer: Bob CROWLEY

Scenario by Nicholas WRIGHT

Lighting Designer: Natasha KATZ

Projection Designers: Jon DRISCOLL and

Gemma CARRINGTON

Puppetry Designer: Toby OLIÉ

Magic Consultant: Paul KIEVE

Conductor: Nathan BROCK / TOMITA Misato

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

Co-production with The Australian Ballet

## 不思議の国のアリス

### ものがたり

イギリスにあるアリス一家の自宅でパーティーが始まろうとしている。アリスは恋する庭師のジャックにジャム・タルトをプレゼントするが、タルトを盗んだと母親に誤解されてジャックはクビになってしまう。悲しむアリスを一家の友人のルイス・キャロルが慰めようとしたところ、不思議なことが！彼は白ウサギに変身する。追いかけたアリスが着いたのは、母親にそっくりのハートの女王が支配する世界。女王のジャム・タルトを盗んだ罪で処刑されそうになっているハートの騎士の格好をしたジャックを救おうと、アリスの冒険が始まる。アリスは体が大きくなったり小さくなったり。そして、白うさぎに誘われ不思議の国の奥深くへ。女王の庭園に忍んできたジャックは女王に捕まってしまい、裁判が始まる。不思議の国で出会った不思議な人々と生き物たちが次々と登場し、ジャックに不利な証言をする。アリスは彼を弁護するが、女王はますます怒りを募らせ、城内は大混乱に…。



2018年公演より（撮影：鹿摩隆司）

## スタッフ プロフィール

## 振付:クリストファー・ウィールドン

Choreography by Christopher WHEELDON

英国出身の振付家。英国ロイヤルバレエ学校で学び、1991年英国ロイヤルバレエに入団。93年にニューヨーク・シティ・バレエに入団し、98年にソリストに昇格。2001年ニューヨーク・シティ・バレエ初の常任振付家に就任。ニューヨーク・シティ・バレエ、ロイヤルバレエ、アメリカン・バレエ・シアター、サンフランシスコ・バレエ、ペンシルバニア・バレエ、オランダ国立バレエ、スウェーデン王立バレエ、ボリショイ・バレエ、ナショナル・バレエ・オブ・カナダといった世界中の主要なバレエ団に作品を提供している。07年に「モルフォーセス」ウィールドン・カンパニーを設立し、ロンドンのサドラーズ・ウェルズ劇場のアソシエイト・アーティストに就任。『Dance of the Hours』（16年）、メトロポリタン・オペラの『カルメン』（12年）、映画『センターステージ』（00年）、ブロードウェイ・ミュージカル『成功の甘き香り』（02年）の振付も手がけた。14年に、パリのシャトレ座で初演されたミュージカル『パリのアメリカ人』を振付。作品は15年にブロードウェイで上演され、トニー賞の振付賞を受賞。『シンデレラ』（13年）と『冬物語』（15年）でブノワ賞。『Aeternum』と『冬物語』でローレンス・オリヴィエ賞。14年にはレオニード・マシーン賞。2016年に大英勲章（OBE）を授与された。新国立劇場では、18年に『不思議の国のアリス』を上演。



## 音楽:ジョビー・タルボット

Music by Joby TALBOT

1971年、英国ウィンブルドン生まれ。ギルドホール音楽演劇学校で作曲を学ぶ。作曲活動は多岐に渡り、合唱曲『奇跡の道』（05年）、アリソン・バルサムとロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団のためのトランペット協奏曲『Desolation Wilderness』（06年）、バレエ作品としては、ウエイン・マクレガー振付『クロマ』（06年）、クリストファー・ウィールドン振付『患者の楽園』（07年）、マクレガー振付『Entity』（08年）、振付家カロリン・カールソンとのコラボレーションで生まれたアンサンブル曲『タイド・ハーモニック』（09年）を編曲したウィールドン振付『タイド・ハーモニック』（13年）などがある。また、声楽曲『The Wishing Tree』（02年）、交響曲『Sneaker Wave』（04年）、交響曲『世界、星々、システム、無限』（12年）、パーセル作曲『シャコンヌ・ト短調』（11年）の編曲も手がけている。15年にはオペラ『エベレスト』がダラス・オペラで初演され、好評を得た。振付家ウィールドンとのコラボレーションによって生まれた全幕バレエ音楽としては、英国ロイヤルバレエで上演された『不思議の国のアリス』（11年）、シェイクスピアの演劇作品をバレエ化した『冬物語』（14年）が挙げられる。『不思議の国のアリス』『Chamber』『クロマ』『奇跡の道』『タイド・ハーモニック』は世界各地で再演されている。



スタッフ プロフィール

**美術・衣装:ボブ・クロウリー**

Set & Costume Designer: Bob CROWLEY

アイルランドのコーク生まれ。演劇、ミュージカル、映画、バレエ、オペラと幅広い分野で活躍する装置・衣装デザイナー。最近の活躍としては、ミュージカル作品では、トニー賞受賞のミュージカル『パリのアメリカ人』（ブロードウェイ、ロンドン、パリ）、『スカイライト』（ロンドン、ブロードウェイ）、『アラジン』（トロント、ブロードウェイ、ロンドン）、ディズニー作品『リトル・マーメイド』ほか数多くの作品を手がけている。演劇作品では英国ナショナル・シアターやロイヤル・シェイクスピア・シアターのために非常に多くの作品を手がけており、トニー賞受賞の『ストーリー・ボーイズ』ほかブロードウェイで上演される作品も多い。バレエ作品では、英国ロイヤルバレエでのウィルドン振付『不思議の国のアリス』『冬物語』、マクミラン振付『アナスタシア』の美術と衣装デザインを手がけた。オペラ作品では、『ドン・カルロ』（メトロポリタン・オペラ）、『椿姫』（英国ロイヤルオペラ）、『グレート・スコット』（ダラス・オペラ）『利口な女狐の物語』（シャトレ座）、映画作品では『オセロ』『クルーシブル』のデザインも手がけており、7度のトニー賞受賞のほか受賞歴も数多い。



**台本:ニコラス・ライト**

Scenario by Nicholas WRIGHT

手がけた演劇作品に、『ツリートップス』、『ワン・ファイン・デイ』（リバーサイド・スタジオ）、『ゴーカー・プリゲイド』（ロイヤル・コート劇場）、『クライムズ・オブ・ヴォートラン』（ショイント・ストック・シアター・グループ）、『お国の習慣』『デザート・エア』（ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー）、『クレシダ』（アルメイダ劇場）、『ラティガンのニジンスキー』（チチェスター・フェスティバル）、『ザ・ラスト・オブ・サ・ダッチェス』（ハムステッド）、『トラベリング・ライト』『ミセス・クライン』『ヴィンセント・イン・ブリクストン』『ザ・レポーター』（ナショナル・シアター）などがある。また、『ライラの冒険』（ナショナル・シアター）、『ネイキッド』『ルル』（アルメイダ劇場）、『ヨーン・ガブリエル・ボウクマン』『三人姉妹』（ナショナル・シアター）、『嘆きのテレーズ』（チチェスター・フェスティバル、ナショナル・シアター）などの翻訳、翻案のほか、オペラの台本では、ヒューストン・グランド・オペラ『星の王子さま』、チャンネル4でのテレビ・オペラ『マン・オン・ザ・ムーン』を手がけている。



**照明:ナターシャ・カツ**

Lighting Designer: Natasha KATZ

ニューヨーク生まれ。演劇、オペラ、ダンス、コンサートの照明デザインや照明インスタレーションを世界中で手がけている。クリストファー・ウィルドンとコラボレーションしたバレエ作品は、2002年『Tryst』、14年『冬物語』（英国ロイヤルバレエ）、02年『Continuum』（サンフランシスコ・バレエ）、03年『Carnival of the Animals』、05年『パリのアメリカ人』（ニューヨーク・シティ・バレエ）、04年『白鳥の湖』（ペンシルバニア・バレエ）、12年『シンデレラ』（オランダ国立バレエ）。また、14年シャトレ座および15年ブロードウェイでの『パリのアメリカ人』、16年『くるみ割り人形』（ジョフリー・バレエ）の照明も手掛けた。6度のトニー賞受賞歴があり、17年には『Hello,Dolly!』でトニー賞に再度ノミネートされた。また、英国ナショナル・シアター、英国ロイヤルオペラ、アメリカン・バレエ・シアター、ナショナル・バレエ・オブ・カナダで上演される作品の照明デザインも手がける。ニューヨークやロンドンのNiketownで照明インスタレーションを行うなど、その活動は広範囲にわたる。



スタッフ プロフィール

**指揮:ネイサン・ブロック**

Conductor: Nathan BROCK

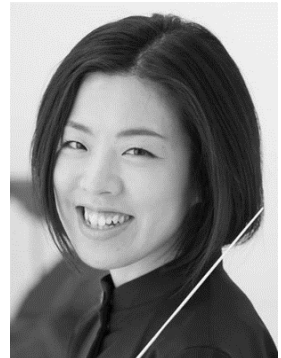
カナダ出身。現在は、ハンブルク州立歌劇場のカベルマイスター。クラシック・コンサート、オペラ、バレエの3つのジャンルにおいて世界中で指揮活動を行っており、特にモントリオール交響楽団、ハンブルク州立歌劇場、カナダ国立バレエの公演を長年にわたり指揮している。2015年にハンブルク州立歌劇場の第2指揮者、音楽監督補に就任。オペラでは『愛の妙薬』『セビリアの理髪師』『魔笛』『ヘンゼルとグレーテル』、バレエ公演ではJ.ノイマイヤーの新作『エレオノーラ・ドゥーゼ』『トゥーランガラ』、『ジゼル』の再演を指揮した。また、ハンブルク州立歌劇場の音楽総監督であるケント・ナガノとともに『ローエングリン』『トリスタンとイゾルデ』『エレクトラ』『ペレアスとメリザンド』、細川俊夫の新作『海、静かな海』に関わった。モントリオール交響楽団では、5シーズンの間に常任指揮者として125回以上コンサートを行った。他にもトロント、ケベック、エドモントン、ノバスコシア、ビクトリア、サンダーベ이의交響楽団と共演している。



**指揮:富田実里**

Conductor: TOMITA Misato

※9ページ『白鳥の湖』を参照



# 竜宮 りゅうぐう

## ～亀の姫と<sup>とき</sup>季の庭～

RYUUGUU - The Turtle Princess

オペラパレス | 8回公演

●会員先行販売期間：2021年6/26(土)～6/28(月)

●一般発売日：2021年7/4(日)

2021年7/24(土)12:30 / 16:00、25(日)12:30 / 16:00、26(月)12:30 / 16:00、27(火)12:30 / 16:00

料金 こども(4歳から小学生):2,750円 / おとな(中学生以上):5,500円

新国立劇場では、次世代を担う子どもたちが、優れたバレエ芸術に触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施してまいりました。2021年の夏は、2020年に新制作し大好評を得た森山開次による『竜宮 りゅうぐう』を再演します。本作は日本の御伽草子「浦島太郎」をモチーフにつくられ、日本の古典芸能の要素もところどころに散りばめられています。遊び心溢れる美術や映像とバレエの表現が掛け合わさり、心弾む世界がオペラパレスに広がります。豪華絢爛な竜宮城には、愉快的海の生き物たちがいて太郎をもてなし、春夏秋冬の美しい四季が堪能できる不思議な季(時)の部屋があります。そして故郷に帰った太郎を待っていた運命とは？日本をテーマにした新国立劇場発のバレエ・ファンタジーは、お子さまだけでなく、大人のバレエファンにも必見の舞台です。

演出・振付：森山開次

音楽：松本淳一

美術・衣裳デザイン：森山開次

映像：ムーチョ村松

照明：櫛田晃代

音響：仲田竜太

Choreography by MORIYAMA Kaiji

Music by MATSUMOTO Junichi

Set and Costume Designer: MORIYAMA Kaiji

Video Designer: Mucho MURAMATSU

Lighting Designer: KUSHIDA Akiyo

Sound Designer: NAKADA Ryuta

### 全国公演日程

○ 2021年9月23日(木・祝) 14:00 フェスティバルホール(大阪)

## こどものためのバレエ劇場 2021『竜宮 りゅうぐう』

### ものがたり

#### 【第一幕】

むかしむかし ある島に 浦島太郎という心の優しい青年がいました。

ある日、浜辺で子ども達が亀を面白がっていじめるのを見た太郎は、亀を助け、海に逃してやりました。その晩、太郎は、風を切り、光を放ち、大空を飛んでいる不思議な夢を見ます。次の朝、波の中から昨日助けた亀が現われて言います「お礼に、竜宮城にご招待をさせていただきます。」亀の背中に乗って、いざ海の旅へ出ると、波が二人を運び、魚たちと光がきらめいて、水と空の二重の風景が太郎を包んでいます。

この亀は、竜宮城のプリンセスだったのです。辿りついた竜宮城では楽しい宴が始まり、美味しいお酒と料理、魚たちの歌と踊りで太郎は厚い接待を受けます。とりわけ亀の姫の舞は、妙なる美しさでした。心の優しい太郎に惹かれた姫と太郎は互いに心を寄せ合い、恋に落ちます。

そして時は瞬く間に過ぎていきました。

#### 【第二幕】

亀の姫と夢のような時を過ごす太郎は、竜宮城に「季(とき)の部屋」があるのを知ります。

その部屋の四方の襖の向こうには、それぞれの四季の庭が広がっていて、四季の美しさを一度に堪能できるのです。長い時間入ってはいけないこの部屋に「少しだけ…」と入ってしまった太郎は、日本の四季に感動し、故郷の美しさをあらためて思い出します。我に帰った太郎は「故郷に帰らなければ」という思いを亀の姫に伝えます。泣く泣くその思いを受け入れた姫は、玉手箱を太郎に授け、別れを告げるのでした。「この玉手箱は、竜宮城に受け継がれてきた、大切な宝の箱。あなたへの愛の証をこの箱に閉じこめました。でも、決して開けてはいけません。」

太郎は、再び波に運ばれて海を進み、気がつくと、浜辺に倒れていました。

あたりを見回すと、寂しげな気配。そこは、700年の歳月が流れた故郷(ふるさと)の浜辺でした。人影はなく、老松だけが佇み、子ども達の声も聞こえません。途方にくれた太郎は、抱えていた玉手箱を開けてしまいます。すると、玉手箱から煙が立ち上り、みるみるうちに太郎は老人になってしまうのです。年寄った太郎は、涙しながら全てを受け入れて行きます。「時の流れの中で生きる、限りある命のこと」「すべてを産んでくれた偉大な母なる海のこと」を。

そして太郎は鶴に姿を変え、大空に飛び立ちます。風を切り、光を放ち、空を飛ぶ明神となった太郎。「あの時みた夢は、このことだったのか！」そこへ、亀の神となった亀の姫があらわれます。亀の姫は鶴の浦島太郎とともに、この島の夫婦(めおと)明神(みょうじん)として、未来永劫、島の民の守り神となりました。

めでたし めでたし！



スタッフ プロフィール

演出・振付・森山開次

Choreography by MORIYAMA Kaiji

21歳でダンスを始め、2001年ソロ作品の発表を開始。05年『KATANA』で「驚異のダンサー」（ニューヨークタイムズ紙）と評され、07年ヴェネチアビエンナーレ招聘。12年発表の新国立劇場ダンス公演『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞、松山バレエ団顕彰・芸術奨励賞を受賞。13年文化庁文化交流使。18年KAAT神奈川芸術劇場『不思議の国のアリス』全国17都市ツアー、19年『ドン・ジョヴァンニ』にてオペラ初演出。『情熱大陸』『からだであそぼ』などメディア出演多数。令和2年度版 小学校「書写」教科書（光村書店）編集協力。空中に文字を書く「空書き」教材の監修を担当した。

15年・18年『サーカス』、19年『NINJA』でも演出・振付・アートディレクションを手がけ、主演。新国立劇場バレエ団とコラボレーションを行った初のバレエ作品『竜宮 りゅうぐう』は、コロナ禍により制作に多くの制限が課せられる中、20年7月にオペラパレス再開公演として上演され、世代を超えて多くの観客を魅了した。

<http://kaijimoriyama.com>



©石塚定人



2020年公演より（撮影：鹿摩隆司）

# ようこそ『シンデレラ』のお城へ！

Educational Programme vol.1

Welcome to the Cinderella Castle!

オペラパレス | 2 回公演

●会員先行販売期間：2021年12/4(土)~12/6(月)

●一般発売日：2021年12/11(土)

2022年2/26(土)14:00、27(日)14:00

料金 こども(4歳から小学生):2,750円 / おとな(中学生以上):5,500円

## 概要

バレエ芸術、そして生の舞台の魅力を体験していただく、新たな教育プロジェクトの第一弾。今回は2022年5月に全幕上演が予定されている『シンデレラ』の舞台をご紹介します。

このプログラムを通し、通常の公演では窺い得ない舞台転換の仕組みや、振付・ダンサーの技術などを分かりやすく解説。初めてバレエを観るお客様やお子様にもバレエや劇場の魅力を知っていただき、舞台鑑賞を始めるきっかけとなることを目指します。普段からバレエをご覧いただいている皆様には、『シンデレラ』を別の角度から楽しむ機会となることでしょうか。

## 『シンデレラ』

振付：フレデリック・アシュトン

監修・演出：ウェンディ・エリス・サムス / マリン・ソワーズ

音楽：セルゲイ・プロコフィエフ

構成・演出：吉田都

Choreography by Sir Frederic ASHTON

Original Production Directed, Supervised and Staged by Wendy Ellis SOMES and Malin THOORS  
Music by Sergei PROKOFIEV

Production by YOSHIDA Miyako



『シンデレラ』2019年公演より (撮影：瀬戸秀美)

# Dance

2021/2022 シーズン ダンス ラインアップ  
〈計 3 演目 10 公演〉

2021 年 11 月  
新国立劇場バレエ団

## Dance to the Future: 2021 Selection

---

2 回公演

2022 年 3 月  
小野寺修二 カンパニーデラシネラ

## ふしぎの国のアリス

---

5 回公演

2022 年 6 月  
森山開次

## 新版・NINJA

---

3 回公演

2021年 11/27~28

## 新国立劇場バレエ団

# DANCE to the Future: 2021 Selection

中劇場 | 2回公演

●会員先行販売期間: 2021年 10/10(日)~10/12(火)

●一般発売日: 2021年 10/16(土)

2021年 11/27(土) 14:00、28(日) 14:00

料金 S:6,600円 A:4,400円

新国立劇場バレエ団がコンテンポラリー・ダンスに出会い、自らの振付作品を発表する場である、新国立劇場バレエ団ならではのシリーズ企画「DANCE to the Future」。新国立劇場バレエ団の中から振付家を育てるプロジェクト「NBJ Choreographic Group」で生まれた選りすぐりの作品を、中劇場で上演します。

今回は、2020年3月に上演中止となり公開できなかった作品や、21年6月に行うSHOWING（試演会）に出品された作品からセレクトして上演する予定です。また、2011年公演でバレエダンサーが踊るジャズ作品として好評を得た上島雪夫『ナット・キング・コール組曲』を再演いたします。新国立劇場バレエ団ダンサーたちの新たな一面にどうぞご期待ください。

## 新国立劇場バレエ団 Choreographic Group 作品より Works selected from NBJ Choreographic Group

アドバイザー: 遠藤康行

Advisor: ENDO Yasuyuki

## ナット・キング・コール組曲 (DANCE to the Future 2011にて初演) Nat King Cole Suite

振付: 上島雪夫

Choreography by UESHIMA Yukio

音楽・歌: ナット・キング・コール ほか

Music & Songs by Nat King COLE and Others

照明: 杉浦弘行

Lighting Designer: SUGIURA Hiroyuki

衣裳: 有村 淳

Costume Designer: ARIMURA Jun



「Dance to the Future 2011」『ナット・キング・コール組曲』より (撮影: 鹿摩隆司)

スタッフ プロフィール
-------------

**アドバイザー:遠藤康行**

Advisor:ENDO Yasuyuki

スターダンサーズ・バレエ団在団中、1994年文化庁在外研修員としてオーストラリア・バレエにて研修。98年村松賞を受賞。ベルギーのシャルロワ・ダンスを経て2005年フランス国立マルセイユ・バレエにソリストとして入団し、振付家としても数々の作品を上演。マルセイユではULULA Danse / Yasuyuki Endoを設立。15年より横浜バレエフェスティバルの芸術監督を務める。エンドウ・バレエ主宰。また、ダンサー/振付家として国際的に活躍する5人のアーティストが中心となり、モナコ公国の芸術研究機関 Le Logoscope の一部として13年に活動を開始した、JAPON dance project のメインメンバーとして14、16、18年に新国立劇場・中劇場で新作を発表し、いずれの公演をも成功に導いている。

**ナット・キング・コール組曲 Nat King Cole Suite****振付:上島雪夫**

Choreography by UESHIMA Yukio

ストリートダンス、ジャズ、バレエなど様々なジャンルでダンサーとして活躍後、劇団四季を経て振付家・演出家となる。『ダンス・オブ・ヴァンパイア』『マイ・フェア・レディ』『ジキルとハイド』『オケピ!』などのミュージカルや、『ジャン・コクトー 随天使の恋』『盤上の敵』などのダンス作品、宝塚歌劇での振付など、担当した作品は数多い。演出家としては人気アニメ『テニスの王子様』を舞台化。これは”テニミュ”と呼ばれ、新シーズンに至って18年間のロングランで累計動員数290万人以上を動員し続け、2.5次元ミュージカルの金字塔と言われている。他にも『PIPPIN』『リトル・ショップ・オブ・ホラーズ』『南太平洋』『キス・ミー・ケイト』などのブロードウェイ・ミュージカルや、『陰陽師』『SEMPO 杉原千畝物語』『リボンの騎士』などのオリジナル作品も多く手掛ける。日中合作映画『スバルー昴』でのダンス監修・振付、新国立劇場ではDANCE EXHIBITION 2008に『Flush ～生き急ぐ時間たち～』を発表している。今回再演される『ナット・キング・コール組曲』は『DANCE to the Future 2011』において新国立劇場バレエ団に振り付け、上演されたものである。



# 小野寺修二 カンパニーデラシネラ ふしぎの国のアリス

Onodera Shuji Company derashinera “Alice’s Adventures in Wonderland”

小劇場 | 5回公演

●会員先行販売期間: 2022年 2/5(土)~2/7(月)

●一般発売日: 2022年 2/12(土)

2022年 3/18(金) 19:00、19(土) 13:00 / 17:00、20(日) 13:00、21(月・祝) 13:00

料金 A:子ども(4歳から小学生)2,750円 / おとな(中学生以上)5,500円

B:子ども(4歳から小学生)1,650円 / おとな(中学生以上)3,300円

マイムの動きをベースにした独自の演出で、世代を超えた観客層の注目を集める小野寺修二。シニカルな笑いを交えたストーリーを展開しながら、シンプルな舞台装置とダンサーの身体によって空間を動かし想像力を刺激していく、大人も子どもも一緒に楽しめるダンス作品の再演です。当初2020年6月の上演を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止、2022年3月の再演となりました。2017年の初演時には、休憩時のロビーでのパフォーマンスも含め、子どもたちの笑い声に小劇場が包まれました。再演に向けて、マイムやダンスでさらにテンポよく練り直された舞台にご期待ください。

構成・演出: 小野寺修二  
選曲・音響効果: 池田野歩  
音響: 黒野 尚  
照明: 吉本有輝子  
美術: 石黒 猛  
衣裳: 今村あずさ

Direction & Choreography by ONODERA Shuji  
Music Advisor / Sound Effects by IKEDA Nobu  
Sound Designer: KURONO Hisashi  
Lighting Designer: YOSHIMOTO Yukiko  
Set Designer: ISHIGURO Takeshi  
Costume Designer: IMAMURA Azusa

出演: カンパニーデラシネラ  
崎山莉奈 藤田桃子  
大庭裕介 荒 悠平  
王下貴司 斉藤 悠  
仁科 幸 小野寺修二

Performance: Company Derashinera  
SAKIYAMA Rina FUJITA Momoko  
OBA Yusuke ARA Yuhei  
OSHITA Takashi SAITO Yu  
NISHINA Miyuki ONODERA Shuji



## スタッフ プロフィール

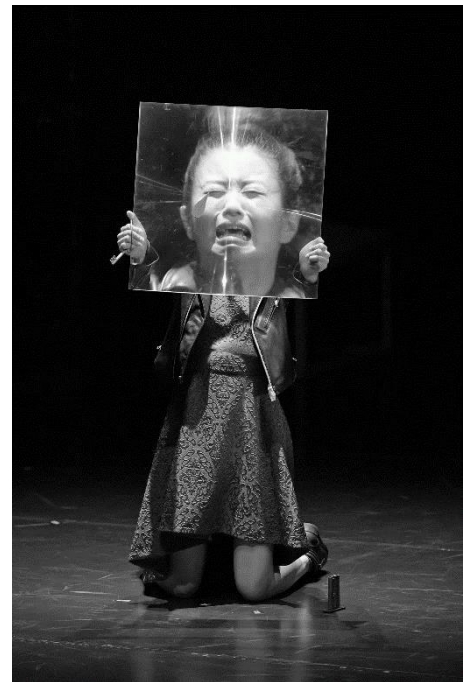
### 構成・演出:小野寺修二

Direction & Choreography by ONODERA Shuji

演出家。カンパニーデラシネラ主宰。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。1995年～2006年パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後カンパニーデラシネラを立ち上げる。マイムの動きをベースにした独自の演出で注目を集めている。主な演出作品として『カラマゾフの兄弟』（2012年新国立劇場）、『女の家』（2008年初演、2014年新国立劇場）、現代能楽集IX『竹取』（2018年シアタートラム他）、『Knife』（2020年/神奈川芸術劇場）等。また野外劇や学校巡回公演など、劇場内にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。音楽劇や演劇で振付も手がけ、第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞。2015年度文化庁文化交流使。



©鈴木穰蔵



2017年公演より（撮影：鹿摩隆司）

2022年 6/25～26

# 森山開次 新版・NINJA

MORIYAMA Kaiji “NINJA”

中劇場 | 3回公演

●会員先行販売期間：2022年 5/8(日)～5/10(火)

●一般発売日：2022年 5/14(土)

2022年 6/25(土)14:00、26(日)13:00/17:30

料金 S:こども(4歳から小学生)3,300円 / おとな(中学生以上)6,600円

A:こども(4歳から小学生)2,200円 / おとな(中学生以上)4,400円

森山開次による、大人も子どもも楽しめるダンス作品の第二弾として2019年に新国立劇場・小劇場をはじめ全国で大好評を得た『NINJA』が、中劇場での上演版として戻ってきます。

思わず口ずさみたくなるテーマソング「ひっそり、こっそり、ひっそり...♪」に合わせて躍動する忍者たち、日本の自然の中に潜む忍者のような昆虫たちなどに扮した、個性豊かで驚異の身体能力を持つダンサーたちが不思議で楽しく、クールな世界を作り出します。子どもたちも、かつて子どもだった大人たちも心掴まれる舞台です。

演出・振付・アート・ディレクション：森山開次

音楽：川瀬浩介

照明：櫛田晃代

映像：ムーチョ村松

衣裳：武田久美子

音響：黒野 尚

出演：森山開次 ほか

Art Direction & Choreography by MORIYAMA Kaiji

Music by KAWASE Kohske

Lighting Designer: KUSHIDA Akiyo

Video Designer: Mucho MURAMATSU

Costume Designer: TAKEDA Kumiko

Sound Designer: KURONO Hisashi

Cast: MORIYAMA Kaiji and others tba



2019年公演より（撮影：鹿摩隆司）



プロフィール

構成・振付:森山開次

Art Direction & Choreography by MORIYAMA Kaiji

※33ページ『竜宮 りゅうぐう』を参照



©石塚定人

音楽:川瀬浩介

Music by KAWASE Kohske

作曲家・美術家。1970年 京都生まれ 東京育ち。2002年光のための音楽《Long Autumn Sweet Thing》を発表し、デビュー。05年、愛知万博で発表された映像作品《ポピュラスケープ》の音楽を担当。その雄大でロマンティックな楽曲は「この映像世界に魂を吹き込んだ」と評された。10年、第13回文化庁メディア芸術祭に、代表作《ベアリング・グロッケン II》が出展され話題に。12年、東京スカイツリーで催されたイルミネーションイベントにて光のインスタレーション《光の音色：a tone of light》を発表。NHK教育テレビ「からだであそぼ〜踊る内臓」の音楽を担当し、森山開次、ひびのこづえと「LIVE BONE」シリーズでツアーを共にしている。新国立劇場では森山開次による15年・18年『サーカス』、19年『NINJA』の音楽を担当、初台駅の列車接近メロディの編曲も手掛けている。デビュー以来、「間口が広く奥行きのあるもの」を追求している。「あなたの心に眠る感動を呼び覚ますこと——それが私の使命です」

<http://www.kawasekohske.info>



# Ballet

## 公演一覧

開場記念公演～2020/2021 シーズン

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
開場記念公演	眠れる森の美女*	M.プティパ	K.セルゲーエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	1997.10/24
	くるみ割り人形*	L.イワノフ	V.ワイノネン G.ゴームレワ	P.チャイコフスキー	1997.12/18
	梵鐘の聲 ～平家物語より*	石井 潤		石井真木	1998. 2/01
1998/ 1999	白鳥の湖*	M.プティパ/L.イワノフ	K.セルゲーエフ N.ドウジンスカヤ	P.チャイコフスキー	1998. 5/26
	ジゼル*	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲーエフ N.ドウジンスカヤ	A.アダン	1998.10/28
	くるみ割り人形	L.イワノフ	V.ワイノネン	P.チャイコフスキー	1998.12/09
	ドン・キホーテ*	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファージェーチェフ	L.ミンクス	1999. 3/18
	<b>トリプル・ビル</b>				1999. 6/25
	レ・シルフィード*	M.フォーキン	M.パーク	F.ショパン	
	踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ*	佐多達枝		W.A.モーツァルト	
ペトルーシュカ*	M.フォーキン	J.オウドウ	I.ストラヴィンスキー		
1999/ 2000	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	1999.10/07
	シンデレラ*	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	1999.12/04
	<b>トリプル・ビル</b>				2000. 2/04
	ラ・バヤデールより“影の王国”*	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス	
	テーマとヴァリエーション*	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
	ペトルーシュカ	M.フォーキン	J.オウドウ	I.ストラヴィンスキー	
	ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファージェーチェフ	L.ミンクス	2000. 3/25
	<b>J・バレエ～ダンス・クレアション～</b>				2000. 5/19
	悲歌のシンフォニー～第3楽章*	金森 稔		H.グレツキ	
	十二夜*	石井 潤		G.マイネリオ ほか	
	舞姫*	望月則彦		A.シュニトケ ほか	
ラ・シルフィード*	A.ブルノンヴィル	S.エンゲルンド/大原永子	H.ルーヴェンシュキョル	2000. 6/29	
テーマとヴァリエーション	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー		
2000/ 2001	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2000. 9/05
	ラ・バヤデール*	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー)	2000.11/17
	くるみ割り人形	L.イワノフ	V.ワイノネン	P.チャイコフスキー	2000.12/22
	シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	2001. 2/23
	眠れる森の美女	M.プティパ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2001. 4/26
	<b>トリプル・ビル</b>				2001. 6/22
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
リラの園*	A.チューダー	D.マーラー	E.ショーソン		
ライモンダ第3幕*	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ		

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2001/ 2002	ロメオとジュリエット*	K.マクミラン	J.リンコン	S.プロコフィエフ	2001.10/12
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2001.12/21
	白鳥の湖	M.ブティバ/ライワーノフ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2002. 2/04
	<b>ミックス・プログラム</b>				2002. 3/16
	レ・シルフィード	M.フォーキン	M.パーク	F.ショパン	
	四つの最後の歌*	R.V.ダンツィヒ		R.シュトラウス	
	ドゥエンデ*	N.ドゥアト	T.ファーブル/K.マッカーシー	C.ドビュッシー	
	シンフォニー・イン・C*	G.バランシン	P.ニアリー	G.ビゼー	
	リラの園	A.チューダー	D.マーラー	E.ショーンソン	
	ドン・キホーテ	M.ブティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2002. 5/17
ジゼル	J.コリ/J.ペロー/M.ブティバ	K.セルゲーエフ	A.アダン	2002. 6/25	
2002/ 2003	こうもり*	R.ブティ		J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	2002. 9/22
	<b>J-パレエ〜ダンス・クレスション〜</b>				2002.11/15
	String(s) piece*	金森 穰		池田亮司	
	Nothing is Distinct*	中島伸欣		管谷昌弘	
	FEELING IS EVERYWHERE*	島崎 徹		J.S.パッサ ほか	
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2002.12/21
	ラ・バヤデール	M.ブティバ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチェベリー)	2003. 2/21
	白鳥の湖	M.ブティバ/ライワーノフ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2003. 5/16
	ラ・シルフィード	A.ブルノンヴィル	S.エンゲルンド/大原永子	H.ルーヴェンシュキョル	2003. 6/27
	パキータ*	M.ブティバ	M.ヴァジーエフ/L.クナコーワ	L.ミンクス	
2003/ 2004	<b>THE CHIC</b>				2003.10/03
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン		G.ビゼー	
	ジゼル/こうもり/ラ・バヤデール/ロメオとジュリエットよりパ・ド・ドゥ				
	ジャルディ・タンカート*	N.ドゥアト		M.D.M.ボネ	
	マノン*	K.マクミラン	P.ルアンヌ/M.パーカー	J.マスネ(編曲 L.ルーカス)	2003.10/29
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2003.12/12
	こうもり	R.ブティ	J.P.アルノー	J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	2003.12/21
	ロメオとジュリエット	K.マクミラン	J.リンコン	S.プロコフィエフ	2004. 4/16
眠れる森の美女	M.ブティバ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2004. 6/04	
2004/ 2005	ライモンダ*	M.ブティバ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2004.10/15
	くるみ割り人形	M.ブティバ/ライワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2004.12/17
	白鳥の湖	M.ブティバ/ライワーノフ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2005. 1/07
	エメラルド・プロジェクト No.1 カルメン*	石井 潤		G.ビゼー(編曲 R.パーカー)	2005. 3/25
	眠れる森の美女	M.ブティバ	K.セルゲーエフ	P.チャイコフスキー	2005. 4/29
	ドン・キホーテ	M.ブティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2005. 6/25

★=新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージ等	音楽	公演初日
2005/ 2006	カルミナ・ブラーナ*	D.ピントレー		C.オルフ	2005.10/29
	ライモンダ ～第1幕より夢の場	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2005.12/16
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	2006. 1/07
	<b>ナチョ・ドゥアトの世界</b>				2006. 3/23
	ドゥエンデ	] N.ドゥアト		C.ドビュッシー	
	ジャルディ・タンカート		M.D.M.ボネ		
	ボル・ヴォス・ムエロ*		15～16世紀スペインの古楽		
こうもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ)	2006. 5/19	
ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲエフ	A.アダン	2006. 6/24	
2006/ 2007	ライモンダ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2006.10/05
	白鳥の湖*	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美 (K.セルゲエフ版による)	P.チャイコフスキー	2006.11/12
	シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	2006.12/15
	眠れる森の美女	M.プティパ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	2007. 2/01
	エメラルド・プロジェクト No.2 オルフェオとエウリディーチェ*	D.ウオルシュ		C.W.グルック (編曲 D.ガルフォース)	2007. 3/21
	コッペリア*	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	2007. 5/13
	ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2007. 6/28
	<b>オペラ・バレエ ガラ公演</b>				2007.10/01
セレナーデ*	G.バランシン		P.チャイコフスキー	2007.11/04	
椿姫*	牧 阿佐美		H.ベルリオーズ		
くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	2007.12/19	
<b>ニューイヤール オペラパレスガラ</b>				2008. 1/05	
アンド・ワルツ*	牧 阿佐美		M.ラヴェル		
「こうもり」から“グラン・カフェ”	R.プティ		J.シュトラウスⅡ世	2008. 3/27	
カルメン	石井 潤		G.ピゼー(編曲 R.パーカー)		
ラ・パヤデール	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリ)		
白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2008. 6/24	
2008/ 2009	アラジン*	D.ピントレー		C.デイヴィス	2008.11/15
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2008.12/20
	ライモンダ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラズノフ	2009. 2/10
	<b>Ballet the Chic</b> —バランシン/サーブ/ドゥアト—				2009. 3/26
	セレナーデ	G.バランシン			
	ボル・ヴォス・ムエロ	N.ドゥアト	K.マッカーシー		
	ブッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ*	T.サーブ	E.クドー		
	空間の鳥*	井口裕之			2009. 5/19
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	
コッペリア	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ		
				2009. 6/26	

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2009/ 2010	ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2009. 10/12
	くるみ割り人形*	L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2009. 12/20
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2010. 1/17
	アンナ・カレーニナ*	B.エイフマン		P.チャイコフスキー等	2010. 3/21
	<b>カルミナ・ブラーナ</b>				
	カルミナ・ブラーナ	D.ピントレー		C.オルフ	2010. 5/01
	ガラントゥリーズ*	D.ピントレー		W.A.モーツァルト	
	椿姫	牧 阿佐美		H.ベルリオーズ	2010. 6/29
2010/ 2011	<b>ペンギン・カフェ</b>				
	ペンギン・カフェ*	D.ピントレー		S.ジェフス	2010. 10/27
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン	C.ニアリー	G.ビゼー	
	火の鳥*	M.フォーキン	D.ボナー	I.ストラヴィンスキー	
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2010. 11/27
	ラ・バヤデル	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー)	2011. 1/15
	<b>ダイナミック ダンス!</b> (公演中止)				
	コンチェルト・バロッコ*	G.バランシン	P.ニアリー	J. S.バッハ	—
	テイク・ファイヴ*	D.ピントレー		D.ブルーベック/P.デズモンド	
	イン・ジ・アッパー・ルーム*	T.サーブ	E.クドー	P.グラス	
アラジン	D.ピントレー		C.デイヴィス	2011. 5/02	
ロメオとジュリエット	K.マクミラン	D.ケリー	S.プロコフィエフ	2011. 6/25	
2011/ 2012	<b>バレエ・オープニング・ガラ</b>				
	「アラジン」から “序曲”“砂漠への旅”“財宝の洞窟”	D.ピントレー		C. デイヴィス	2011. 10/01
	パド・ドゥ集:眠れる森の美女第3幕より	グラン・パド・ドゥ/ロメオとジュリエット バルコニー・シーン/ドン・キホーテ第3幕より			
	シンフォニー・イン・C 第4楽章	G.バランシン		G.ビゼー	
	パゴダの王子*	D.ピントレー		B.ブリテン	2011. 10/30
	くるみ割り人形	L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2011. 12/17
	こうもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスII世(編曲D.ガムレイ)	2012. 2/04
	アンナ・カレーニナ	B.エイフマン		P.チャイコフスキー ほか	2012. 3/16
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2012. 5/05
	マノン	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.バーネット	J.マスネ(編曲 M.イエーツ)	2012. 6/23
2012/ 2013	シルヴィア*	D.ピントレー		L.ドリーブ	2012. 10/27
	シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	2012. 12/15
	<b>ダイナミック ダンス!</b>				
	コンチェルト・バロッコ*	G.バランシン	D.フォーヴァー	J.S.バッハ	2013. 1/24
	テイク・ファイヴ*	D.ピントレー		D.ブルーベック/P.デズモンド	
	イン・ジ・アッパー・ルーム*	T.サーブ	E.クドー	P.グラス	
	ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲーエフ	A.アダン	2013. 2/17
	<b>ペンギン・カフェ 2013</b>				
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン	P.ポーズ	G.ビゼー	2013. 4/28
	E=mc <sup>2</sup> *	D.ピントレー		M.ハインドソン	
ペンギン・カフェ	D.ピントレー		S.ジェフス		
ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2013. 6/22	

★=新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2013/ 2014	<b>バレエ・リュス ストラヴィンスキー・イブニング</b>			I.ストラヴィンスキー	2013.11/13
	火の鳥	M.フォーキン	D.ボナー		
	アポロ★ 結婚★	G.バランシン B.ニジンスカ	B.ヒューズ C.ニュートン/C.サンダース		
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2013.12/17
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2014. 2/15
	<b>シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント</b>				2014. 3/18
	暗やみから解き放たれて★	J.ラング		Ó.アルナルズ/N.フラーム J.クレイマー/J.メトカーフ	
	大フーガ★ シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント★	H.V.マーネン G.バランシン	M.ヴェネーマ B.ヒューズ	L.v.ベートーヴェン I.ストラヴィンスキー	
	<b>ファスター／カルミナ・ブラーナ</b>	D.ピントレー			
	ファスター★ カルミナ・ブラーナ			M.ハインドソン C.オルフ	2014. 4/19
パゴダの王子	D.ピントレー		B.プリテン	2014. 6/12	
2014/ 2015	眠れる森の美女★	M.プティパ/W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2014.11/08
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2014.12/14
	ラ・バヤデール	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー)	2015. 2/17
	<b>トリプル・ビル</b>				2015. 3/14
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン	B.ヒューズ	P.チャイコフスキー	
	ドゥエンデ トロイ・ゲーム★	N.ドゥアト R.ノース	K.マッカーシー J.モス	C.ドビュッシー B.ダウンス ほか	
	こうもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ)	2015. 4/21
	白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2015. 6/10
	2015/ 2016	ホフマン物語★	P.ダレル	K.バーク	J.オッフェンバック
くるみ割り人形		L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2015. 12/19
<b>ニューイヤール・バレエ</b>					2016. 1/09
セレナーデ		G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
フォリア		貝川鐵夫		A.コレツリ	
「パリの炎」パ・ド・ドゥ		V.ワイノーネン		B.アサフィエフ	
「海賊」パ・ド・ドゥ		M.プティパ		R.ドリーゴ	
タランテラ 「ライモンダ」より第3幕		G.バランシン M.プティパ	P.ニアリー 牧 阿佐美	L.M.ゴットシャルク A.グラズノフ	
<b>ラ・シルフィード／Men Y Men</b>					2016. 2/06
ラ・シルフィード Men Y Men★		A.ブルノンヴィル W.イーグリング	大原永子	H.ルーヴェンシュキョル S.ラフマニノフ(編曲 G.サザランド)	
ドン・キホーテ	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	2016. 5/03	
アラジン	D.ピントレー		C.デイヴィス	2016. 6/11	
2016/ 2017	ロメオとジュリエット	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.パーネット	S.プロコフィエフ	2016. 10/29
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2016. 12/17
	<b>ヴァレンタイン・バレエ</b>				2017. 2/17
	テーマとヴァリエーション	G.バランシン	B.ヒューズ	P.チャイコフスキー	
	「ドン・キホーテ」グランパ・ド・ドゥ	M.プティパ/A.ゴルスキー		L.ミンクス	
	「白鳥の湖」第3幕より黒鳥のパ・ド・ドゥ	M.プティパ		P.チャイコフスキー	
	ソワレ・ド・バレエ★	深川秀夫		A.グラズノフ	
	タランテラ トロイ・ゲーム	G.バランシン R.ノース		L.M.ゴットシャルク B.ダウンス ほか	
	コッペリア	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	2017. 2/24
	眠れる森の美女	M.プティパ/W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2017. 5/05
ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ	K.セルゲエフ	A.アダン	2017. 6/24	

★＝新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
2017/ 2018	くるみ割り人形*	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2017. 10/28
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2017. 12/16
	<b>ニューイヤー・バレエ</b>				
	パ・ド・カトル	J.ペロー	アントン・ドーリン	C.プーニ	2018. 1/06
	グラン・パ・クラシック*	V.グゾフスキー		F.オーベール	
	チャイコフスキー・パ・ド・ドゥ*	G.バランシン		P.チャイコフスキー	
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン		G.ビゼー	
	ホフマン物語	P.ダレル		J.オッフエンバック	2018. 2/09
白鳥の湖	M.プティパ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2018. 4/30	
眠れる森の美女	M.プティパ/W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2018. 6/09	
2018/ 2019	不思議の国のアリス*	C.ウィールドン	J.バレット/J.ファウラー	J.タルボット	2018. 11/02
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2018. 12/16
	<b>ニューイヤー・バレエ</b>				
	レ・シルフィード	M.フォーキン		F.ショパン	2019. 1/12
	火の鳥*	中村恩恵		I.ストラヴィンスキー	
	バトルーシュカ	M.フォーキン	D.ボナー	I.ストラヴィンスキー	
	ラ・バヤデー	M.プティパ	牧 阿佐美	L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー)	2019. 3/02
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	2019. 4/27
アラジン	D.ピントレー		C.デイヴィス	2019. 6/15	
2019/ 2020	ロメオとジュリエット	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.バーネット	S.プロコフィエフ	2019. 10/19
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2019. 12/14
	<b>ニューイヤー・バレエ</b>				
	セレナーデ	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	2020. 1/11
	『ライモンダ』よりパ・ド・ドゥ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	
	『海賊』よりパ・ド・ドゥ	M.プティパ		R.ドリーゴ	
	DGV Danse à Grande Vitesse ©*	C.ウィールドン	J.ファウラー	M.ナイマン	
	マノン	K.マクミラン	P.ルアンヌ/K.バーネット	J.マスネ(編曲 M.イエーツ)	2020. 2/22
ドン・キホーテ(公演中止)	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジューチェフ	L.ミンクス		
不思議の国のアリス(公演中止)	C.ウィールドン		J.タルボット		
2020/ 2021	ドン・キホーテ *1	M.プティパ/A.ゴルスキー	A.ファジューチェフ	L.ミンクス	2020. 10/23
	くるみ割り人形	W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2020. 12/12
	<b>ニューイヤー・バレエ(公演中止) *2</b>				
	パキータ	M.プティパ		L.ミンクス	
	Contact	木下嘉人		O.アルナルズ	
	ソワレ・ド・バレエ	深川秀夫		A.グラスノフ	
	カンパネラ	貝川鐵夫		F.リスト	
	ペンギン・カフェ	D.ピントレー		S.ジェフス	
眠れる森の美女 *3	M.プティパ/W.イーグリング		P.チャイコフスキー	2021. 2/20	
コッペリア	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	2021. 5/01	
ライモンダ	M.プティパ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	2021. 6/05	

★＝新制作

\*1 当初予定していた『白鳥の湖』(新制作)より演目変更

\*2 当初予定していた『デュオ・コンチェルト』に変わって、『Contact』『ソワレ・ド・バレエ』『カンパネラ』に演目変更

2021年1月11日に無観客でライブ配信を実施

\*3 当初予定していた「吉田都セレクション -ファイヴ・タンゴ/A Million Kisses to my Skin/テーマとヴァリエーション」より演目変更

〈中学生のためのバレエ〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
平成 20 年度	白鳥の湖	M.プティパ/ライワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2008. 6/26
平成 21 年度	白鳥の湖	M.プティパ/ライワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	2009. 5/20
平成 22 年度	椿姫	牧 阿佐美		H.ベルリオーズ(編曲:E.フローリオ)	2010. 6/30

〈こどものためのバレエ劇場〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
平成 21 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2009. 4/04
平成 22 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2010. 7/23
平成 24 年度	シンデレラ	小倉佐知子		S.プロコフィエフ	2012. 7/27
平成 26 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2014. 7/25
平成 27 年度	シンデレラ	小倉佐知子		S.プロコフィエフ	2015. 7/22
平成 28 年度	白鳥の湖	M.プティパ/ライワーノフ	大原永子 (構成・演出)	P.チャイコフスキー	2016. 7/21
平成 29 年度	しらゆき姫	小倉佐知子	三輪えり花 (構成・演出)	J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄)	2017. 7/27
平成 30 年度	シンデレラ	小倉佐知子		S.プロコフィエフ	2015. 7/22
令和 元年度	白鳥の湖	M.プティパ/ライワーノフ	大原永子 (構成・演出)	P.チャイコフスキー	2019. 7/27
令和 2 年度	竜宮 りゆうぐう*	森山開次		松本淳一	2020. 7/24

★=新制作

〈地域招聘公演〉

年度	公演	振付	改訂振付・ステージング等	音楽	公演初日
平成 20 年度	アンナ・カレーニナ (法村友井バレエ団)	A.プロコフスキー		P.チャイコフスキー(編曲:G.ウールフェンデン)	2009. 1/11
平成 22 年度	角兵衛獅子 (新潟シティバレエ)	橘秋子	渡辺珠実 (ステージング)	山内正	2010.12/19
平成 24 年度	(貞松・浜田バレエ団)				
	A プログラム くるみ割り人形	M.プティパ/ライワーノフ	貞松融/浜田蓉子	P.チャイコフスキー	2013. 1/12
平成 26 年度	B プログラム 6DANCES Memoryhouse DANCE	I.キリアン 森優貴 O.ナハリン		W.A.モーツァルト M.リヒター/A.バラネスク/P.ヴァスクス L.アルメイダ 他	2013. 1/14
	Color of Dance (樋笠バレエ団)				
平成 26 年度	バッハ・ア・ラ・トゥルカ ビトウイーン・トゥー ムハマドフ 黒と白 彩の彼方	メット・バルカン		J.バッハ、バッハ・アレンジメント E.アルダル W.A.モーツァルト E.アルダル E.アルダル	2015. 1/11



# Dance

## 公演一覧

開場記念公演～2020/2021 シーズン

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日	
開場記念公演	<b>パノラマ展 A プログラム</b>		1997.11/21	
	ラプソディ リジェネレーション リゴドン ～死の舞踏	石井かほる 能美健志 庄司 裕		
	<b>マスターワークス</b>		1997.12/06	
	梟の唄 世界はバツハのように	折田克子 西田 堯		
	<b>パノラマ展 B プログラム</b>		1998. 1/07	
	春の祭典 カウンターバランス ～現実をみるための空想～ 風市	竹内登志子 米井澄江 藤井 公		
1998/ 1999	ダンスプラネット No.1 コムヘリタキナ	木佐貫邦子	1998. 4/24	
	ダンスプラネット No.2 ありす	中村しんじ	1998. 9/25	
	ダンステアトロン No.1 <b>凡人 対 美貴</b>		1998.11/28	
	ゆるやかなさかみち 礼儀正しい隠蔽	厚木凡人 若松美黄		
	ダンステアトロン No.2 FAUST	平林和子	1999. 2/26	
	ダンスプラネット No.3 エロスの部屋 ～黒い乳母車～	泉 克芳	1999. 4/23	
1999/ 2000	ダンスプラネット No.4 現実との3分間／非現実との3分間 ～ピアソラへのオマージュ～	能美健志	1999. 9/24	
	ダンステアトロン No.3 神曲	西田 堯	1999.11/27	
	ダンスプラネット No.5 <b>ダンスコンサート 舞姫たちの午後</b>			
	A プログラム Sequence of tenses 死と乙女 城壁の空高く、のぼる太陽・しずむ月 Hommage 墜ちたる天女	田保和里 軽部裕美 武元賀寿子 菊地純子 本間祥公	振付 二見一幸 振付 能美健志 演奏 斎藤 徹／井野信義 演奏 森田浩平 演奏 杉浦 聡	2000. 3/10
	B プログラム ff-fortissimo あいだ カッサンドラダンス あなたの肩に頬寄せて 雲の上に草をうえる人 権兵衛が種をまけば…	内田 香 北井千都代 地主律子 児玉敏子 川野真子 金井美三枝	演奏 馬場高望 振付 中村しんじ 演奏 香川隆樹／持丸 明／原 光弘	2000. 3/12
	ダンスプラネット No.6 キングリア	上田 遥	音楽・演奏 東儀秀樹／王 霄峰	2000. 6/09
2000/ 2001	ダンスプラネット No.7 ピノッキオ	中村しんじ	2000. 9/22	
	ダンステアトロン No.4 Raj Packet -everything but Ravi	勅使川原三郎	音楽・演奏 SAND	2000.12/16
	ダンステアトロン No.5 Close the door,open your mouth HYPER BALLAD	伊藤キム 山崎広太	音楽監督・演奏 伊藤康英	2001. 3/10
	ダンスプラネット No.8 エヴァのひみつ	石井かほる		2001. 6/15

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2001/ 2002	ダンスプラネット No.9 Signs:Landmark	モリサ・フェンレイ ピアノ演奏 高橋アキ	2001. 9/28
	Metamorphosis	菊地純子	
	ダンステアトロン No.6 森羅	野坂公夫	2001.12/01
	空間の詩学	正田千鶴	
	ダンスプラネット No.10 伊藤キム作品集 Me and I / Butterfly and Me / あなた	伊藤キム	2002. 2/15
	ダンステアトロン No.7 マーサへ ～空のなか 愛がふれあうとき～	アキコ・カンダ	2002. 6/15
2002/ 2003	ダンスプラネット No.11 未来の空隙は響き	構成・演出・美術 小池博史	2002. 9/20
	ダンステアトロン No.8 Raj Packet II	構成・振付・美術・衣裳・照明 勅使川原三郎 音楽・演奏 SAND	2002.12/14
	ダンスプラネット No.12 <b>DANCE EXHIBITION 2003</b>		
	Aプログラム DOROBO 泥棒 -再生の産声- the edge Figinto 穿たれた眼	石川ふくろう 永谷亜紀 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ポロ	2003. 3/14
	Bプログラム Against Newton ～ニュートンに逆らって 4×4 Figinto 穿たれた眼	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 水と油 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ポロ	2003. 3/16
	ダンステアトロン No.9 EXPECT 東京ダンスホール	木佐貴邦子 中村しんじ	2003. 6/21
2003/ 2004	ダンスプラネット No.13 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後		
	Giselle Espresso 弱法師 ロメオとジュリエット I & II シャコンヌ MAGUMA	軽部裕美&島地保武 内田香&古賀豊 加賀谷香&森山開次 イ・ユンキョン&リュ・ソクン 平山素子&能美健志 蘭このみ&清水典人 特別出演 津村禮次郎	2003. 9/12
	ダンステアトロン No.10 バレエ・プレルジョカージュ ヘリコプター／春の祭典	アンジュラン・プレルジョカージュ	2003.11/07
	ダンスプラネット No.14 Against Newton II 騒ぐにはもってこいの日	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 武元賀寿子 音楽・演奏 こまっちヤクヰズマ/太田恵資	2004. 2/13
	ダンステアトロン No.11 Close the door, open your mouth 花の歴史	伊藤キム 伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英	2004. 5/15
	ダンスプラネット No.15 <b>DANCE EXHIBITION 2004</b>		
2004/ 2005	Aプログラム Divining 月に歌うケジラ 冷めないうちに召し上がれ	リー・ウォーレン&ダンサーズ 川野眞子 内田 香 Rousewaltz ピアノ演奏 サイモン・テデスキ 総合演出 中村しんじ	2004. 9/15
	Bプログラム LOTUS 一花の咲く時季 OKINA Swerve	浅野つかさ 森山開次 リー・ウォーレン&ダンサーズ 特別出演 津村禮次郎 打楽器演奏 バプロ・パーカッソー	2004. 9/17
	ダンステアトロン No.12 KAZAHANA 風花	勅使川原三郎	2005. 2/04
	ダンスプラネット No.16 移動の法則	水と油	2005. 2/18
	ダンスプラネット No.17 田中 涙 独舞・赤光	田中 涙 音楽・演奏 大倉正之助/一噌幸弘	2005. 6/03

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2005/ 2006	ダンスプラネット No.18 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後		
	ダリのリアリズムの薔薇 あやかし Where is my moon? 光芒 ～長き尾を引き流れ星は～ Butterfly noon afternoon	矢作聡子&藤田恭子&関根えりか&山中ひさの 花柳せいら&伊藤拓次 バク・ユースン&キム・ソンヨン 蘭このみ&清水典人 平山素子&中川 賢 マイケル・シューマツハ & アレッシオ・シルベストリン	2005. 9/16
	ダンスプラネット No.19 コラボレートする身体 いぶき～奇蹟の大地 法悦	森山開次&宮崎秀人 能美健志 & 高田みどり 打楽器演奏 高田みどり	2005.11/25
	ダンステアトロン No.13 バレエ・プレルジョカージュ		
	A プログラム N	アンジュラン・プレルジョカージュ	2006. 1/31
	B プログラム Les 4 saisons…(四季)	アンジュラン・プレルジョカージュ	2006. 2/04
	ダンスプラネット No.20 きらめく背骨	前田清実 音楽・演奏 金子飛鳥	2006. 6/16
2006/ 2007	ダンスプラネット No.21 DANCE EXHIBITION 2006		
	A プログラム 【c-e】 消失にむかう地点の青 Crush さーかす	佐藤美紀 共同演出 鈴木千穂／平多利江 キム・バンソン 川野真子 演出 中村しんじ	2006. 9/15
	B プログラム QWERTY 人形 Chopiniana ケース Butterfly no-side	石山雄三 湊斐美子 中野真紀子 新上裕也 平山素子&中川 賢 ゲー・リャンリャン&高頂	2006. 9/18
	ダンステアトロン No.14 ガラスノ牙	勅使川原三郎	2006.12/15
	ダンステアトロン No.15 如風～inside of wind	野坂公夫／武元賀寿子／内田 香 演出・音楽・演奏 大倉正之助 音楽・演奏 ロバート・ミラバル	2007. 2/10
	ダンスプラネット No.22 Life Casting 一型取られる生命ー	平山素子	2007. 6/01
	ダンスプラネット No.23 消息 Substance	勅使川原三郎	2007. 9/29
ダンスプラネット No.24 勅使川原三郎ソロ ミロク	勅使川原三郎	2007.12/08	
ダンスプラネット No.25 ダンス名作展 ー10 年を振り返って未来への展望ー			
Against Newton シャコンヌ Espresso さーかす	岩淵多喜子 平山素子 & 能美健志 内田 香 & 古賀 豊 ヴァイオリン演奏 末永千湖 川野真子 演出 中村しんじ	2008. 1/18	
ダンスプラネット No.26 未来へ繋ぐトリプル・ビル			
受胎告知 Butterfly 曲線(カーブ)した声	アンジュラン・プレルジョカージュ 平山素子&中川 賢 野坂公夫／坂本信子	2008. 2/15	
ダンスプラネット No.27 空気のダンス ーデッサンから飛び立った少年少女ー	勅使川原三郎	2008. 4/04	

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2008/ 2009	ダンスプラネット No.21 <b>DANCE EXHIBITION 2008</b> —Dance meets Music—		
	A プログラム Accumulated Layout (蓄積された配置) “形が”“人が”語り始めると カッコウ	梅田宏明 二見一幸 / ダンスカンパニーカレイドスコープ Co. 山田うん      ピアノ演奏 クリヤ・マコト	2008. 9/06
	B プログラム REM —The Black Cat パレードの馬 Flush (ほとばしる) ~生き急ぐ時間たち~	川口ゆい 加賀谷香      音楽・ヴァイオリン演奏 太田恵資 上島雪夫 / UESHIMA theater	2008. 9/13
	ダンスシアトロン No.16 <b>古楽とストラヴィンスキー</b> 木佐貫邦子 × 平山素子		2008.11/15
	キャラバン 春の祭典	木佐貫邦子      音楽 スカンク 平山素子 / 柳本雅寛      ピアノ演奏 土田英介 / 篠田昌伸	
	ダンスプラネット No.29 <b>森山開次作品集</b>		2009. 2/09
	OKINA 弱法師 花想観 狂ひそうろふ (くろいそうろう)	森山開次 / 津村禮次郎      音楽 種子田郷 森山開次 / 加賀谷 香 / 津村禮次郎      音楽 笠松泰洋 フルート演奏 木之脇道元 森山開次      音楽・パーカッション YAS-KAZ	
	金森 穰 Noism09 ZONE ~陽炎 稲妻 水の月	金森 穰      出演 Noism09	2009. 6/17
2009/ 2010	ダンスシアトロン No.17 勅使川原三郎 鏡と音楽	勅使川原三郎	2009. 9/25
	ダンスプラネット No.31 平山素子 Life Casting —型取られる生命—	平山素子      音楽 落合敏行	2009.11/05
	ダンスプラネット No.32 近藤良平 トリプルビル	近藤良平	2010. 2/05
	ダンスシアトロン No.18 <b>DANCE to the Future</b>	出演 新国立劇場バレエ団	2010. 5/29
	Wolfgang for Webb THE LAST ERA OF CINDERELLA Snow Lotus —雪蓮華	ドミニク・ウォルシュ 能美健志 井口裕之	
2010/ 2011	ダンスプラネット No.33 <b>DANCE PLATFORM 2010</b>		
	A プログラム 果てに… SINSHOKU Improvisation.705117902 Autumn Hunch	原田みのる 池田美佳 菊地尚子 高瀬譜希子	2010.10/22
	B プログラム FAUNE (2008) レトルト —その中の愛と闘争 belle-île イキキル	大岩淑子 山口華子 松崎えり C/Ompany (大植真太郎・柳本雅寛・平原慎太郎)	2010.10/29
	ダンスシアトロン No.19 <b>ストラヴィンスキー・イブニング</b>	平山素子      音楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー	2010.12/04
	兵士の物語 春の祭典	演奏 崔 文洙 (vl.) 松本健司 (cl.) 土田英介 (pf) 共同振付 柳本雅寛      ピアノ演奏 土田英介 / 篠田昌伸	
	ダンスプラネット No.34 イデビアン・クルー アレルギー	井手茂太      出演 イデビアン・クルー	2011. 3/09
	ダンスシアトロン No.20 <b>DANCE to the Future 2011</b>	出演 新国立劇場バレエ団	2011. 5/28
	Almond Blossoms QWERTY ナット・キング・コール組曲	キミホ・ハルバート 石山雄三 上島雪夫	

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2011/ 2012	Shakespeare THE SONNETS	中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ	2011. 9/30
	<b>近松 DANCE 弐題</b>		
	Aプログラム 女殺油地獄	鍵田真由美／佐藤浩希 アルテ イ ソラ 音楽 J.ガルベス	2011. 11/17
	Bプログラム エゴイズム	加賀谷香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋	2011. 11/25
	カラマーゾフの兄弟	小野寺修二 カンパニーデラシネラ	2012. 2/08
	<b>DANCE to the Future 2012</b> Ag+G Butterfly 兵士の物語	平山素子 出演 新国立劇場バレエ団 音楽 笠松泰洋、落合敏行 共同振付 中川 賢 音楽 M.ナイマン、落合敏行 音楽 I.ストラヴィンスキー 演奏 竹中勇人(vl.) 杉本健司(cl.) 土田英介(pf)	2012. 4/21
2012/ 2013	森山開次「曼荼羅の宇宙」	森山開次 音楽・演奏 高木正勝	2012. 10/17
	<b>DANCE PLATFORM 2012</b>		
	Aプログラム ユニット・キミホ「Beauties and Beasts」	キミホ・ハルバート ユニット・キミホ	2012. 11/17
	Bプログラム 高谷史郎(ダムタイプ)「明るい部屋」	高谷史郎	2012. 12/07
	<b>DANCE to the Future 2013</b> solo for 2 The Well-Tempered / Who is "Us" ? / O Solitude	出演 新国立劇場バレエ団 金森 穰 演奏 渡辺玲子(vl.) 中村恩恵	2013. 3/26
	フランス印象派ダンス「Trip Triptych」	平山素子 音楽 C.ドビュッシー／M.ラヴェル／E.サティ	2013. 6/07
2013/ 2014	<b>中村恩恵×首藤康之</b>	中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P. ハウブリッヒ	
	Aプログラム 小さな家 UNE PETITE MAISON		2013. 10/04
	Bプログラム Shakespeare THE SONNETS		2013. 10/09
	DANCE to the Future ～Second Steps～	監修 デヴィッド・ビントレー 振付・出演 新国立劇場バレエ団	2013. 12/07
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ ある女の家	小野寺修二	2014. 1/23
	<b>ダンス・アーカイヴ in JAPAN</b> —未来への扉— a Door to the Future		2014. 6/06
	第一部「日本の太鼓」 第二部 小品集 ピチカット 母 タンゴ 三題 BANBAN 食欲をそそる 白い手袋 第三部「春の祭典」	江口隆哉 音楽 伊福部 昭 伊藤道郎 演奏 杉山麻衣子(vi.) 阿部篤志(pf) 高田せい子 今川裕代(pf) 伊藤道郎 小森 敏 宮 操子 阿部篤志(pf) 檜 健次 今川裕代(pf) 石井 漢 加藤訓子(Perc.) 石井 漢 加藤訓子(Perc.) 平山素子／柳本雅寛 ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸	
2014/ 2015	JAPON dance project TOKYO 2014 CLOUD /CROWD	遠藤康行／小池ミモザ／青木尚哉／柳本雅寛／児玉北斗	2014. 8/30
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future ～Third Steps～ NBJ Choreographic Group	アドヴァイザー 平山素子(招待作品振付) マイルン・トレウバエフ／貝川鐵夫／福田圭吾／小口邦明 宝満直也／高橋一輝／広瀬 碧	2015. 1/16
	<b>ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015</b>		2015. 3/07
	第一部 小品集 機械は生きている マスク 恐怖の踊り 釣り人 スカラ座のまり使い 第二部 体(たい)	石井 漢 演奏 加藤訓子(Perc.) 石井 漢 執行正俊 檜 健次 演奏 河内春香(pf) 江口隆哉 演奏 河内春香(pf) 石井みどり	
	森山開次「サーカス」	演出・振付・アートディレクション 森山開次 音楽 川瀬浩介 出演 森山開次 ほか	2015. 6/20

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2015/ 2016	<b>近松 DANCE 武題</b>		
	Aプログラム 「エゴイズム」	加賀谷 香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋	2015. 10/09
	Bプログラム 「近松の女」 梅川 近松リポーターズ 五障 Goshō(おさんと小春より)	吾妻徳穂(日本舞踊)／酒井はな(バレエ)／蘭このみ(フラメンコ) 音楽・演奏 染谷ひろし／稲津清一(ギター)／手塚 環(カンテ[歌]) 蘭 このみ 島地保武 音楽 古川展生(チェロ) 吾妻徳穂 作曲・笛演奏 藤舎推峰／ 琴・胡弓演奏 日吉章吾	2015. 10/16
	<b>新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2016</b>		
	NBJ Choreographic Group 作品 暗やみから解き放たれて	米沢 唯／貝川鐵夫／福田圭吾／小口邦明／宝満直也／高橋一輝／原田有希 ジェシカ・ラング 音楽 O.アルナルズ／N.フラム／ J.クレイマー／J.メトカーフ	2016. 3/12
平山素子「Hybrid-Rhythm & Dance」	平山素子 音楽 オレカ TX (Perc.) / 床 絵美(唄)	2016. 3/25	
高谷史郎(ダムタイプ)「CHROMA(クロマ)」	高谷史郎 音楽 サイモン・フィッシャー・ターナー／ 南 琢也／原 摩利彦	2016. 5/21	
2016/ 2017	JAPON dance project 2016 Move / Still	遠藤康行／小池ミモザ／青木尚哉／柳本雅寛／児玉北斗	2016. 8/27
	<b>新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2016 Autumn</b>	アドヴァイザー 中村恩恵 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 生演奏による Improvisation 即興	貝川鐵夫／木下嘉人／福田紘也／宝満直也 演奏 中川俊郎(pf.)／木ノ脇 道元(fl.) (18日) 音楽監修・演奏 笠松泰洋 スガダイロー(pf.)／室屋光一郎(vl.) (19日) 林 正樹(pf.)／佐藤芳明(acc.) (20日)	2016. 11/18
	中村恩恵×新国立劇場バレエ団 「ベートーヴェン・ソナタ」	中村恩恵 音楽 L.v.ベートーヴェン 出演 首藤康之／新国立劇場バレエ団	2017. 3/18
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」	構成・振付 小野寺修二 出演 カンパニーデラシネラ	2017. 6/03
2017/ 2018	舞踏の今 その1 山海塾「海の賑わい 陸(オカ)の静寂— めぐり」	演出・振付・デザイン 音楽 加古 隆／YAS-KAZ／吉川洋一郎 天児牛大 出演 山海塾	2017. 11/25
	高谷史郎(ダムタイプ)「ST/LL」	総合ディレクション 音楽 坂本龍一／原 摩利彦／南 琢也 高谷史郎 出演 鶴田真由／藪内美佐子／平井優子／ オリヴィエ・バルザリーニ	2018. 2/24
	舞踏の今 その1 大駱駝艦・天賦典式「罪と罰」	振舞・演出・美術 磨 赤兒 舞態(出演) 磨 赤兒ほか	2018. 3/17
	森山開次「サーカス」	演出・振付・アートディレクション 音楽 川瀬浩介 森山開次 出演 森山開次 ほか	2018. 5/19
2018/ 2019	JAPON dance project 2018×新国立劇場バレエ団 「Summer / Night / Dream」	遠藤康行／小池ミモザ／柳本雅寛	2018. 8/25
	<b>ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2018</b>		
	「砂漠のミイラ」 「獄舎の演芸」 「八月の庭」	庄司 裕 音楽構成 山本 直 藤井 公 音楽 クルト・ヴァイル ほか 若松美黄 音楽 安良岡章夫	2018. 11/24
	<b>新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2019</b>	アドヴァイザー 中村恩恵 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 生演奏による Improvisation 即興	貝川鐵夫／福田圭吾／高橋一輝／福田紘也 演奏 スガダイロー(pf.)室屋光一郎(vl.)伊藤ハルトン(vc./gt.) (29日) 音楽監修・演奏 阿部篤志(pf.)笠松泰洋(ob.)室屋光一郎(vl.) (30日 13:00) 笠松泰洋 阿部篤志(pf.)笠松泰洋(ob.)太田恵資(vl.) (30日 18:00) 林 正樹(pf.)佐藤芳明(acc.)岩川 光(ケーナ) (31日)	2019. 3/29
森山開次「NINJA」	演出・振付・アートディレクション 音楽 川瀬浩介 森山開次 出演 森山開次 ほか	2019. 5/31	

シーズン	公演	振付・主演・演奏 等	公演初日
2019/ 2020	中村恩恵×新国立劇場バレエ団 「ベートーヴェン・ソナタ」	中村恩恵 音楽 L.v.ベートーヴェン 出演 首藤康之／新国立劇場バレエ団	2019. 11/30
	新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2020 (公演中止) *	アドバイザー 遠藤康行 出演 新国立劇場バレエ団	
	NBJ Choreographic Group 作品 コンポジション・プロジェクトによる作品	渡邊峻郁／貝川鐵夫／福田圭吾／木下嘉人／高橋一輝／福田紘也 アドバイザー 遠藤康行 音楽 平本正宏	
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」(公演中止)	構成・振付 小野寺修二 出演 カンパニーデラシネラ	
2020/ 2021	中村恩恵×首藤康之×新国立劇場バレエ団 「Shakespeare THE SONNETS」	中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ 出演 小野絢子&渡邊峻郁／ 米沢唯&首藤康之	2020. 11/28
	ダンス・コンサート 舞姫と牧神たちの午後 2021		
	かそけし	演出・振付 島地保武 出演 酒井はな&森山未来 音楽・演奏 藤元高輝	2021. 3/26
	極地の空	振付・出演 加賀谷 香&吉崎裕哉 音楽・演奏 坂出雅海	
	Let's Do It!	振付・出演 山田うん&川合ロン	
	「A Picture of You Falling」より	振付 クリスタル・バイト 出演 湯浅永麻&小尻健太	
Danae	振付 貝川鐵夫 出演 木村優里&渡邊峻郁		
Butterfly	振付 平山素子&中川 賢 出演 池田理沙子&奥村康祐／ 五月女遥&渡邊拓朗		
Co.山田うん『オバケッタ』	山田うん ラノサトル	2021. 7/02	

\* 第3部<コンポジション・プロジェクトによる作品>を無観客でライブ配信

---

# MEMO



